



KICHIJO

GIRLS' SCHOOL

GUIDEBOOK
2024【資料編】



目次

I 学校概要

01 創立者と設立者	03
02 建学の精神と校是	04
03 校章	04
04 沿革と学校規模	05
05 教育課程	06
06 図書館教育	08
07 ICT 機器の活用	09
08 補習・講習・勉強合宿	10
09 課外授業	13
10 学校生活	14
11 制服	15
12 生徒会活動	16
13 進路・進学	17
14 国際交流	22
15 キャンパス内の大理石とモットー	26
16 2023 年度学納金	28
17 生徒居住地・通学時間	28
18 各教科の取り組み	29

II 2023 年度入試問題 問題構成・出題の意図

01 国語	40
02 算数	42
03 社会	44
04 理科	47

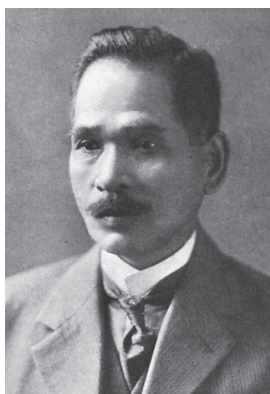
Q&A	49
-----	----

入学案内	51
------	----

2024 年度入試概要

2023 年度中学校入試結果

I 01 創立者と設立者



創立者 もり やすさび お
守屋荒美雄

創立者 守屋荒美雄先生は昭和 13（1938）年、新宿の大久保に本校の前身である帝国第一高等女学校を創設されました。

先生は明治 5 年（1872 年）に岡山県に生まれ、幼小の頃から向学心の大変強い方でした。高等小学校 4 年生のときに代用教員試験に合格し、小学校で教鞭をとられたのです。

19 歳で校長となり、さらに独学で文部省検定試験に合格して中学校教諭の資格をとり上京、獨協中学などで教えられました。専門は地理、歴史で、優れた指導をなさり、ご自身で教科書の執筆、編集もなさり、学問研究にも打ち込まれました。大正 6 年（1917 年）には、帝国書院（教科書出版会社）を設立し、以後、先生は著作と経営に当たられました。先生の著作は全国的に反響をよび、大きな影響を社会に及ぼしました。

晩年になって先生は、出版で得た利益を社会に還元するため学校を設立することを決意され、本校の前身である帝国第一高等女学校がつくられたのです。

女性の教育機会をひろげて、社会に役立つことを念願した先生は、開校直前の 2 月 8 日に病によって永眠されました。



設立者 もり や み か お
守屋美賀雄

創立者 守屋荒美雄先生は昭和 13 年の開校を前にして亡くなられたので、ご長男であった守屋美賀雄先生が、理事長となられて本校は発足しました。

先生は明治 39 年（1906 年）東京小石川に生まれ、開成中学、第一高等学校、東京帝国大学で学ばれました。代数学と整数論を専攻、ドイツのマールブルグ大学に留学されて帰国後、理学博士号を取得し、北海道大学で教育と研究に打ち込まれました。以後、岡山大学、東京大学で教授を歴任し、昭和 41（1966）年から 50（1975）年まで、上智大学で理工学部長、学長をなさり、数々の業績をあげられました。

この間、先生は吉祥の発展を手がけられ、昭和 57（1982）年に逝去されるまで 45 年間にわたり理事長また監事として、本校をわが子のように育てられました。

荒美雄先生と同様に敬虔なキリスト教徒であった先生は、ローマ法王庁より聖グレゴリオ大勲章を受賞されました。しかし、「私の勲章は教え子である」と言っておられ、自分自身で考えることの大切さや、自分の行動には責任を伴うことを常日頃話されていました。

I 02 建学の精神と校是

建学の精神

社会に貢献する自立した女性の育成

この建学の精神を具現化すべく、次の三つを校是としています。

校 是

知的探究心を育みましょう

吉祥女子中学・高等学校は地理学者であった守屋荒美雄〈教科書や地図帳などを出版している帝国書院の創設者〉とその長男で数学者であった守屋美賀雄〈東京大学教授や上智大学学長などを歴任〉という二人の研究者が、1938（昭和13）年に創立した学校です。二人の真摯かつ継続的に学ぶ姿勢が本校の根幹にあります。学びは、中学高校や大学で終わるものではありません。知的探究心を育み、生涯にわたり、学び続けることの素晴らしさを二人の生き方は教えています。

言葉と行動に責任を持ちましょう

守屋美賀雄は「自分の意見を決めるとき、自分自身で考えることをしないで周囲の人に合わせたり、また自分の行動を決める場合にも、その行動から生じる責任を考えるとなく、大勢に同調して行動してしまうことは日本人の大きな欠点だ」と常日頃語っていました。自分の意見を言ったり、周囲の人たちと意見交換する際大切なのは、自分で考え自分の言葉で誠実に語ることです。また、自分のためばかりではなく、集団や社会貢献のために責任ある行動ができるようになることを本校は目標としています。

互いの価値観を尊重しましょう

自分の価値観と相手の価値観が異なり、時として衝突することがあります。そのとき、必要なのは自分の枠にとどまらず、話し合いを重ねることです。話し合いの結果、結論は同じということがあるかもしれませんが、その過程を通じて、新たな発想や視点を持つことができます。このように互いの価値観を尊重する姿勢は、社会性や協調性、国際性を身につけることにもつながっていきます。本校では個性の伸長ばかりでなく、互いの価値観の尊重をととても重要と考えています。

I 03 校 章



校章は「なでしこ」の花を型どったものです。「なでしこ」は秋の野を飾るありふれた草花ですが、それでいて清楚で落ち着いた気品高い美しさを持っています。また茎は細く弱そうに見えながら中空で節があり、雨にも風にもなかなか折れない粘りと強さを持っています。この「なでしこ」のように清く、美しく、強く、正しく伸び育つことを願ってこの校章を決めました。なお中央の模様は吉祥の頭文字Kをドイツ語の花文字で表したものです。

I 04 沿革と学校規模

- 沿革
- 1938年 守屋荒美雄が本校の前身帝国第一高等女学校を淀橋区（現新宿区）百人町に創設
初代理事長に守屋美賀雄、初代校長に増田啓策が就任
 - 1945年 戦災により校舎が被災
 - 1946年 現在の吉祥寺キャンパスに移転 新校舎落成
 - 1947年 吉祥女子中学校と改称
 - 1948年 吉祥女子高等学校が新発足 田代通直が校長に就任
 - 1961年 富士吉田キャンパス竣工
 - 1965年 八王子にグラウンド完成
 - 1971年 生徒の海外研修開始
 - 1978年 6号館竣工（1階ホール・2階音楽室）
 - 1983年 7号館竣工（トレーニングルーム・アトリエなど）
 - 1985年 富士吉田キャンパス祥友会館竣工
 - 1993年 八王子キャンパス完成（グラウンド・テニスコート・祥成館（宿泊施設）など）
 - 1998年 祥文館（茶室・和室）竣工
 - 2003年 新本館（1・2・3号館）竣工
 - 2007年 高校募集を停止、中高完全一貫開始
 - 2015年 東京農工大学と高大連携の協定を締結
 - 2017年 東京外国語大学と高大連携の協定を締結
 - 2018年 新5号館（カフェテリア・視聴覚室・教室など）竣工
 - 2020年 国際基督教大学・東京学芸大学と高大連携の協定を締結
 - 2021年 順天堂大学と高大連携の協定を締結
理事長に萩原茂、校長に赤沼一弘が就任

■ 教職員 ※ 2023年4月現在

理事長：萩原 茂
 校長：赤沼一弘
 専任教諭：77名（男性36名・女性41名）
 常勤講師：2名 非常勤講師：44名
 司書：2名 養護：3名
 校務職員：4名 非常勤：5名
 カウンセラー：2名 事務：9名
 現業：5名 課外授業：19名
 校外施設管理：4名

■ 生徒数 ※ 2023年4月現在

中学校：732名	{ 1年：244名（6クラス） 2年：247名（6クラス） 3年：241名（6クラス） }
高等学校：806名	
合計：1,538名	

※ 中学から高校への進学は、学習面、学校生活面を総合的に審査して決定。希望者は全員進学。

■ 施設 閑静な住宅街に充実した施設

閑静な住宅街にあり、豊富な施設がコンパクトにまとめられています。教室・図書館・理科室・家庭科実習室・進路指導室などがある本館、体育館・トレーニングルーム・グリーンコート・プールなどの運動施設・専門のカウンセラー2名を配したカウンセリングルーム、自由なメニューを選べるカフェテリアなど、生徒の有効な利用を考えて作られています。茶室や和室を備えた祥文館は課外授業やホームルーム、保護者会会場などとしても利用されています。校外施設として、八王子キャンパスがあります。

I 05 教育課程

中学校

教科科目	国語		社会			数学				理科			保健体育	音楽	美術	外国語		技術・家庭	道徳	総合的な学習の時間	合計		
	現代文	古典	地理	歴史	公民	数学	代数	幾何	数学I	数学A	1分野	2分野				生物基礎	英語					英会話	
授業時間数(週)	中学1年	3	2	2	2		4					2	2		3	2	2	5	1	2	1	2	35
	中学2年	3	3	1	2			3	3			2	2		3	1	1	5	1	2	1	2	35
	中学3年	2	3	1		3				3	3	2		2	3	1	1	5	2	1	1	2	35
	合計	16		11			16				12			9	8		19		5	3	6	105	

※総合的な学習の時間は年間を通して、週2時間相当の時数分を行います。 ※教育課程は変更する場合があります。

高等学校

1年次は芸術教科を除いて全員同じ科目を共通して学習し、高校基礎学力の充実を図ります。2年次からは進路目標に応じて、文系、理系、芸術系に分かれます。文系・理系とも2年次より複数科目で習熟度授業を取り入れます。3年次からは、文系はさらに国公立文系と私立文系に分かれます。

■ 2年文系⇒3年私立文系 「国・英・地歴などの文系科目に重点をおいて集中的に学習します」

3年次からは、興味ある文系科目の学力を徹底的に伸ばし、難関私立大学に対応できる学力を効率よく身につけます。国語は2年次6単位、3年次7単位が必修です。英語は高3の一部科目で習熟度別授業を展開し、2年次合計6単位、3年次合計10単位を履修します。地歴科目は2年次4単位で培った素養をもとに3年次で8単位履修し、集中的に歴史の流れがつかめるようになっています。

■ 2年文系⇒3年国公立文系 「さまざまな教科をバランスよく履修し、総合力をアップします」

数学を2年次で6単位、3年次で6単位履修します。また、共通テスト対策として理科を2年次で2単位、3年次で2単位履修します。社会科では2年次に日本史探究、世界史探究のいずれか一方の4単位履修に加え、地理を全員が履修します。3年次には2年次4単位で培った素養をもとに日本史探究・世界史探究を5単位履修します。さらに共通テストで2科目めとして必要となる科目を2年次、3年次の自由選択でとることができます。

■ 2・3年理系 「国公立および私立の両方に対応したカリキュラムのもとで進路達成を図ります」

2年次は数学7単位、理科7単位、英語6単位、3年次は数学8単位、理科8単位、英語各7単位を履修します。国語は2年次に4単位、3年次に4単位履修し、難関国公立大学の受験につなげます。さらに、地理総合を2年次に2単位履修し、2・3年次の選択科目とあわせて共通テストに備えます。

■ 2・3年芸術系 「専門的な授業を2年次に8単位、3年次に10単位を履修し、芸術大学への進学をめざします」

美術では、絵画（素描、採画、素材研究、美術理論等）とデザイン（色彩演習、立体演習）に分けて専門的に学びます。3年次には、進学のための特別カリキュラムも生まれ、志望専攻別の授業が行われます。

教科	科目	高校1年		高校2年						高校3年								
		共通	選択	文系		芸術系		理系		必修	私文系		国立文系		芸術系	理系		自由
				共通	選択	共通	選択	共通	選択		共通	選択	共通	選択		共通	選択	
国語	現代の国語	2																
	言語文化	2																
	論語文			3		3		2			3		3		3	2		
	古典探			3		3		2			4		4		4	2		
	現代文演習																	②
地理歴史	古典演習																	②
	歴史総合	2																
	地理総合			2		2		2										④
	地理探																	④
	日本史探				④			④			⑤		⑤					
	世界史探				④			④			⑤		⑤					
	日本史総合								②		③							
世界史総合								②		③								
公民	共通テスト日本史																	④
	共通テスト世界史																	④
	系統地																	②
	公民	2																
数学	倫理									②								
	政治・経済									②								
	共通テスト倫理																	②
	共通テスト政治・経済																	②
	数学Ⅰ	3※																
	数学Ⅱ			4				4										④
	数学Ⅲ																	④
	数学A	2※																④
	数学B			2				3										④
	数学C												③					④
理科	数学Ⅱ演習											③						④
	共通テスト数学Ⅱ											③						④
	共通テスト数学C											③						④
	数学C演習																	④
	数学ⅠA演習																	②
	数学Ⅲ上級																	②
	物理基礎	2																
	物理基礎																	④
	化学基礎	2			①					③								
	化学基礎				①			4							4			
保健体育	生物基礎	2																④
	生物基礎																	④
	化学基礎演習											1						
	生物基礎演習											1						
	体育	2		3		3		3		2	2		2	2				
	音楽Ⅰ	2																
	美術Ⅰ		②															
	オペラ・ミュージカル				②													
	絵画					4												
	デザイン					4												
芸術	美術総合A												4					
	美術総合B												6					
	ソルフェージュ																	
	美術史探究																	②
	建築史探究																	②
	選択音楽B																	②
	選択音楽C																	②
	選択音楽D																	④
	選択美術A																	②
	選択美術B																	④
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3																
	英語コミュニケーションⅡ			4		4		4										
	英語コミュニケーションⅢ									4	4		4	4				
	論理・表現Ⅰ	2																
	論理・表現Ⅱ			2		2		2										
	論理・表現Ⅲ									3	3		3	3				
	英語探究																	②
総合英語演習									3			3						
英語読解記述演習																	②	
家庭	家庭基礎			2		2		2										
情報	情報Ⅰ	2																②
理数	理数探究																	②
総合的な探究の時間		2		1		1		1		1		1		1		1		
合計		34		32		32		32		28		30		30		30		(注3)
特別活動		1		1		1		1		1		1		1		1		

(注1) 高校2・3年次文系生徒の地歴選択:世界史探究・日本史探究のうち1科目履修する。高校2年次に4単位履修した科目を3年次に国立文系では5単位、私立文系では8単位(5+3)履修する。世界史探究を履修した場合、2年次の必修選択科目の世界史総合を履修できない。日本史探究を履修した場合、2年次の必修選択科目の日本史総合を履修できない。2年次の必修選択科目で世界史総合・日本史総合のうち1科目2単位履修した場合は、必要に応じ、3年次に共通テスト日本史・共通テスト世界史を自由選択(4単位)で履修する。

(注2) 高校2年次理系の物理・生物は、2・3年次に同一科目を履修する。

(注3) 高校3年次の自由選択科目は私文系は6単位まで、国立文系・芸術系・理系は4単位まで履修可。

(注4) 教育課程表の数字は、各科目の単位数を表しています。例えば1年次の現代の国語の2は2単位のことで、1週あたり2時間の授業があり、1年間履修して認定されれば2単位修得したことになります。本校を卒業するためには、88単位以上修得することが必要です。

(注5) 「総合的な探究の時間」は年間を通して高1は週2時間相当、高2・3は週1時間相当の時間分を行います。

(注6) 教育課程は変更することがあります。

※「数学Ⅰ」(3単位)および「数学A」(2単位)の一部は、併設型中高一貫校の教育課程の特例により、吉祥女子中学校第3学年で履修している。
 ※「数学Ⅰ」および「数学A」の一部に関しては、国内の学校から転編入学した生徒には、未履修にならないよう、別途指導を行う。

I 06 図書館教育

8万冊を超える蔵書と充実した環境

約 82,000 冊の図書のほか、雑誌や新聞、CD、DVD などの資料も充実しています。毎月約 200 冊の図書を新規購入し、生徒の知的好奇心を刺激します。通常の貸出は図書 5 冊、雑誌 3 冊でいずれも 2 週間借りられます。年 2 回の読書週間や長期休暇前などの特別貸出期間は、貸出冊数制限なしで好きなだけ借りることができます。

閲覧コーナーはグループ学習向き (54 席)、講義型の授業向き (48 席) の 2 か所に分かれ、多様な利用ニーズに対応できるフレキシブルなレイアウトになっています。靴を脱いで足を伸ばして利用できるブラウジングエリアは、冬は床暖房で暖かく生徒に人気のコーナーです。

生徒一人ひとりの学びをサポート

生徒の探究的な学びや調査・研究に対応できるように、図書館ではあらゆる分野の資料を収集しています。紙媒体の資料以外に、インターネットを使って新聞記事を検索・閲覧できるデータベースなども導入しています。豊富な資料を活用した学びを通して、生徒は多様な考え方やものの見方に触れながら豊かな思考力と表現力を身につけていきます。レファレンスや読書相談は専任の司書教諭が対応します。

自宅から図書館のホームページにアクセスして、いつでも蔵書の検索をしたり、借りたい資料の予約をしたりできるようにしています。読みたい本が図書館になれば購入希望を出すこともできます。また、図書館に行かなくても各自の情報端末で電子書籍を借りて読むことができる電子図書館(電子書籍貸出サービス)が始まっています。

■ 吉祥女子中学・高等学校図書館ホームページ <https://kichijo-joshi.opac.jp/>

■ Kichijo Digital Library ホームページ <https://web.d-library.jp/kichijo/g0101/top/>

読書推進の取り組み

■ 読書週間

年 2 回、読書週間を実施して全校で読書活動に取り組んでいます。期間中は朝の読書時間を設けて各自が読みたい本を持参し教室で静かに読む時間としています。

■ ビブリオバトルなどの多様な読書活動

中学 1 年生は、授業の中で「ビブリオバトル(書評合戦)」「読書紹介文づくり」「探究型読書」「読書ノート」などに取り組みます。様々な読書活動を通じて積極的に読書に向かう態度を身につけていきます。

■ 読書への径^{こみち}

教員の推薦図書リスト「読書への径^{こみち}」を作成し、1985 年から毎年発行しています。テーマ別図書、教科別図書、巻末特集の 3 部構成で、バラエティ豊かな作品が掲載されています。

■ Kichijo Library Press

図書委員が作成する広報紙で、毎月中学・高校別に発行しています。新着図書案内をはじめ、話題の作家紹介、クラス別貸出状況などの情報を提供し、生徒と図書館をつなぐ大事な役割を果たしています。

■ 図書委員のおすすめ新書ブックガイド

読書の幅を広げようという目的で図書委員が毎年発行しています。新書が扱うテーマは社会問題から歴史、科学、スポーツ、人生の指南書など知的好奇心を刺激するものがたくさんあります。

I 07 ICT 機器の活用

BYOD で使い慣れた端末を活用

本校では、よりよい学校生活を送り、情報活用能力を育成するために BYOD (Bring your own device) を採用しています。生徒はタブレットやノート PC など自分の使い慣れた情報端末を学校に持参し、校内の無線 LAN に接続して利用することができます。教科学習をはじめ、委員会・部活動、学校行事など学校生活のさまざまな場面で活用しています。学校生活の中には情報機器の有効な活用方法を身につける機会がたくさんあります。

クラウドをコミュニケーションツールに活用

クラウド利用の知識と技能を身につけ、情報活用の実践力を養うことを目的とし、「Google Workspace for Education」を学校の公式コミュニケーションツールとして活用しています。アカウントを生徒と保護者に配付し、学習コンテンツの提供、委員会・部活動の情報共有、学校と家庭との双方向の情報交換などに利用しています。また、生徒用に「Microsoft365」のアカウントを配付し、各自の情報端末で Office 系アプリを無償で利用できるようにしています。

学び方のスキルと情報モラルの習得

情報の学習は中学、高校と体系的に積み重ねていきます。中学 1 年次には、図書館やパソコン室を使って課題解決の手法や効果的なプレゼンテーションの仕方を学びます。疑問に思ったことについて資料で調べて考えをまとめ、生徒同士で協働する活動を通して論理的な思考力と表現力を身につけていきます。また、インターネット上のコミュニケーションのあり方、著作権、個人情報とプライバシーの重要性などについて考える機会を持つようになっています。



I 08 補習・講習・勉強合宿

補習

中学校では学習に遅れが見られる生徒を対象に数学・英語の補習を週に1回ずつ、放課後に30名から40名ほどで行っています。各教科2～3名の教員が担当し、定期考査ごとに入れ替えがあります。

教養講座・公開講座

夏休みと冬休み前の自宅学習期間に、高大連携の協定を結んでいる大学の先生方をはじめ、様々なジャンルの専門家、研究者、企業人の方々などをお招きし、関心や興味を持っていることをさらに深めたり、視野を広げたりするための教養講座を設けています。「社会（生き方）を知る」「職業を知る」「学問を知る」という3つの柱からなるプログラムで、原則として学年を問わず希望者を対象にしています。学年を超えて上級生と下級生と一緒にグループでの活動等を行う講座もあり、通常の授業とは異なる環境の中で、貴重な経験を積んでいきます。この講座を通して、自分自身のことや社会で起きていることなどに「気づき」を得て、高校卒業後の進路選択につなげていきます。

また、教養講座以外にも外部団体や大学主催によるセミナーにも多くの吉祥生が参加しています。その他、自分の可能性を高めたり、探究活動を行ったりする機会として外部団体のコンテストやコンクールにもチャレンジしています。

2022年度 1学期教養講座

講座名	講演者・講師
「イギリスはなぜEUから離脱したか？」	東京外国語大学大学院 総合国際学研究院 若松 邦弘 先生
「ニュースリテラシー ～ニュースをよみとく力～」	読売新聞教育ネットワークアドバイザー 田中 孝宏 先生
「トップアスリートのコーチング ～オリンピック金メダルへの道～」	順天堂大学 スポーツ健康科学部 スポーツ科学科 原田 睦巳 先生
「次世代のペプチド創薬にAI技術やスパコンで挑む」	東京工業大学 情報理工学院 秋山 泰 先生
「STEAM タグラブビー」	(株)STEAM Sports Laboratory インストラクターの方々 および本校教員（榎原宏一・西塚純一郎）

2022年度 2学期教養講座

講座名	講演者・講師
「音楽データサイエンスの体験」	国立音楽大学 音楽学部 音楽情報専修 三浦 雅展 先生
「文系・理系の垣根を超えて ～自然人類学の魅力～」	総合研究大学院大学 / コペンハーゲン大学 澤藤 りかい 先生（吉祥卒業生）
「探究型インターンシッププログラム ～株の力～」	教育と探求社 / 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券 および本校教員
東京工業大学大学院生による講義&懇談会	東京工業大学大学院 博士課程学生・修士課程学生 （吉祥卒業生を含む）
前半 レクチャー 「デザインの仕事～東京中央郵便局にミュージアムをつくる～」 後半 ワークショップ 「平面が立体になる瞬間を体感する」	多摩美術大学 美術学部 環境デザイン学科 湯澤 幸子 先生 他
「獣医師の仕事と、女性が働くということ」	東京農工大学 農学部 共同獣医学科 オブライエン 悠木子 先生

高大連携について

本校では東京農工大学、東京外国語大学、東京学芸大学、国際基督教大学、順天堂大学と高大連携の協定を結んでいます。協定校の先生方による出張講義等を通して文理の垣根を越えた学びの結びつきやその深さに気づく機会を持っています。校内講習では協定校の大学生がアシスタント・ティーチャーとしてサポートをしてくれることもあります。また、協定校を訪問し、本校の卒業生がキャンパスを案内し、大学についての説明をするイベントも行っています。吉祥生の中には協定校の研究室で個人研究を進め探究的な学びを発展させている生徒もいます。

講習・勉強合宿

夏休みには、7月下旬から8月下旬まで①～⑥期に分け、午前・午後に講習が行われます。1つの講座は1日3コマまたは4コマ（1コマ50分）で3日間となります。レベルや分野に応じた講座や教科横断型の講座などそれぞれの学びに対する意欲に応える講座を開講しています。弱点を補強したい教科やより高いレベルの内容に取り組みたい教科などを自由に組み合わせることで効果的に学習を進めることができます。2022年度は中学講座・高校講座を合わせて、143講座が設置され、のべ2,692名の生徒が受講しました。2023年度は3コマ×3日の講座は3,000円、4コマ×3日の講座は3,700円の予定です。

外部の宿泊施設にて行われる勉強合宿『祥友ゼミナール』は7月に高校1・2年生を対象に100名を超える希望者が参加して行われます。2023年度は高2で5講座、高1で2講座を設置する予定です。授業→復習→確認テストのサイクルを1日の中に組み込むことで深い学びにつなげていきます。仲間と共に教え励ましあいながら、切磋琢磨できることはこのゼミの魅力の1つです。また、自ら目標を決め、学習計画を立て、試行錯誤しながら自分と向き合い、自立した学習者になるべく集中して学習に取り組めます。

2022年度 夏期講習設置講座一覧

講座名	対象学年	講座名	対象学年	講座名	対象学年
古文中級演習	高3	現代文記述演習	高2	古典演習	中3
現代文記述演習	高3	古典演習基礎から標準	高2	Newscasterになろう！(入門編)	中3
古典上級演習	高3	高2英語演習(基礎)	高2	英語でプレゼンテーション2	中3
小論文+要約	高3	高2英語演習(標準～発展)	高2	英語徹底復習(基礎)	中3
英語入試問題演習(国立・発展)	高3	Advanced Listening & Writing	高2～高3	『ハリーポッター』を原書で読もう	中3～高1
英語入試問題演習(共テ～私大)	高3	英語スピーチ特訓講座	高1～高3	2次関数(基礎)	中3
スタンダード数学ⅠAⅡB	高3	英語エッセイ特訓講座	高1～高3	2次関数(標準)	中3
ハイレベル数学ⅠAⅡB(図形編)	高3	ベクトル(標準)	高2	2次関数(応用)	中3
ハイレベル数学ⅠAⅡB(解析編)	高3	ベクトル(応用)	高2	幾何標準演習	中3～高1
スタンダード数学Ⅲ	高3	数列(標準)	高2	立体造形講座(彫刻・工芸編)	中3～高1
ハイレベル数学Ⅲ(積分)	高3	数列(応用)	高2	ロボットプログラミング入門	中3
ハイレベル数学Ⅲ(極限・微分)	高3	三角・指数・対数関数(標準)	高2	探究のためのフィールドワーク入門	中3～高2
整数問題特講	高3	三角・指数・対数関数(応用)	高2	現代文演習	中2
最難関世界史論述総特訓	高3	世界史B古代史特訓 ギリシア・ローマ編	高2	古典演習	中2
欧米文化史特講	高3	世界史B古代史特訓 インド・中国編	高2	英語(標準)	中2
世界史東洋文化史	高3	化学(標準)	高2	英語(発展)	中2
戦後アジア史概説	高3	化学(発展)	高2	英語(標準～発展)	中2
戦後欧米史概説	高3	物理学入試問題特講(標準)	高2	1次関数	中2
日本史論述対策入門	高3	物理学入試問題特講(発展)	高2	中2幾何(基礎)	中2
日本文化史	高3	高2理系生物ステップアップ	高2	代数(基礎)	中2
地理難関大学対策記述演習	高3	デザイン系デッサン講習(キックオフ編)	高2～高3	ロボットプログラミング入門	中2
共通テスト地理演習(1)	高3	デザイン系色彩構成講習(キックオフ編)	高2～高3	国語演習	中1
共通テスト地理演習(2)	高3	デザイン系デッサン講習(実践編)	高2～高3	英語の本を楽しく読む	中1
共通テスト政治・経済～日本の統治機構	高3	絵画系デッサン講習(基礎編)	高2～高3	英語を楽しく使おう	中1
共通テスト政治・経済～人権と平和主義	高3	絵画系デッサン講習(発展編)	高2～高3	英検対策講座・3級	中1～中2
共通テスト倫理総特訓	高3	高1現代文演習	高1	数学(基礎)	中1
理論化学入試対策①	高3	古文基礎特訓(助動詞を中心に)	高1	数学(標準)	中1
理論化学入試対策②	高3	英文読解・演習	高1	読書・朗読(読み聞かせ)・文学散歩	中1～高2
有機化学特講①(脂肪族)	高3	4技能統合の基礎(再)	高1		
有機化学特講②(芳香族)	高3	図形と方程式(応用-I)	高1		
物理入試問題特講力学編(標準)	高3	図形と方程式(応用-II)	高1		
物理入試問題特講電磁気編(標準)	高3	図形と方程式(標準)	高1		
二次対策生物α	高3	場合の数・確率	高1～高2		
二次対策生物β	高3	地学基礎A(岩石圏)	高1～高3		
楽しもう熱・波動	高3	哲学対話に挑戦	高1～高3		

2022年度 祥友ゼミナール設置講座一覧

学年	講座名
高1	英語・数学ゼミ
高2	英語・国語ゼミ
高2	英語・世界史ゼミ
高2	数学・物理ゼミ
高2	数学・化学ゼミ
高2	数学・生物ゼミ

I 09 課外授業

課外授業は専門の先生を校内にお招きし、放課後に開講されます。遠方からの通学で「習い事」が難しい生徒も含めて、校内で教養を高めることができます。年度ごとに受講講座を選ぶことができます。技術の進歩に応じて免状または修了証を授与する講座もあります。中学全体で約 28%、高校全体で約 16%の生徒が受講しています。

2023 年度 課外授業講座一覧

※ 2023 年 4 月

講座	曜日	時間	年額授業料	場所	指導者
ピアノ ① 30分レッスン ② 15分レッスン	月～金 土	3:50～5:00 1:15～4:00	① 108,900円 ② 54,900円	レッスン室①③④	八十嶋 洋子
					光枝 まり
					蓼沼 恵美子
					小宮 尚子
					新庄 涼子
声楽 ① 30分レッスン ② 15分レッスン	月～金 土	3:50～5:00 1:15～4:00	① 108,900円 ② 54,900円	第二音楽室	小川 哲生
					井上 由紀
ヴァイオリン ① 個人レッスン ② グループレッスン	火 金 土	3:50～5:00 1:15～4:00	① 57,600円 ② 39,600円	ソルフェージュ室	前田 みねり
				レッスン室④	鈴木 桂子
チェロ ① 個人レッスン ② グループレッスン	火	3:50～5:00	① 57,600円 ② 39,600円	レッスン室③	竹本 聖子
フルート ① 個人レッスン ② グループレッスン	月 土	3:50～5:00 1:15～4:00	① 57,600円 ② 39,600円	ソルフェージュ室	大島 勤子
トランペット ① 個人レッスン ② グループレッスン	月 水	3:50～5:00	① 57,600円 ② 39,600円	第一音楽室	西島 祐子
クラリネット ① 個人レッスン ② グループレッスン	水 土	3:50～5:00 1:15～4:00	① 57,600円 ② 39,600円	レッスン室③ 第一音楽室	村上 あづみ
ミュージックラボ ① レッスンⅠ ② レッスンⅡ ③ レッスンⅠ・Ⅱ隔週併用受講	Ⅰ水 Ⅱ月	3:50～5:00	40,500円	Ⅰソルフェージュ室 Ⅱレッスン室②④	Ⅰ 福井 香菜子
					Ⅱ 長谷部 瑞季
中学美術	土	1:40～5:00	* 38,700円	アトリエ 工芸室	森田 りと子 清水 亜紅 森田 春菜
高1造形① ★	木 金 週2回*	3:40～5:30	50,000円		森田 りと子 鈴木 伊美 笠原 出 清水 亜虹 根本 恭美子 森田 春菜
高1造形②	土	1:40～5:30	40,000円		
高2造形① ★	木 金 週3回*	3:40～5:30 1:40～5:30	100,000円		
高2造形②	土	1:40～5:30	40,000円		
高3造形 ★	木 金 週3回*	3:40～5:30 1:40～5:30	100,000円		
華道(草月流)	水	3:50～5:00	* 54,900円	多目的室⑨	江口 玉枝
茶道(裏千家)	木 土	3:50～5:00 12:40～4:00	* 40,500円	祥文館1階和室	細淵 宗世
箏曲(生田流)	金	3:50～5:00	38,700円	祥文館1階和室	神崎 歌子
中国語会話	火	3:50～5:00	36,000円	多目的室⑬	胡 婉如
着付	月	3:50～5:00	34,200円	祥文館1階和室	映末 以子
日本舞踊(坂東流)	火	3:50～5:00	38,700円	祥文館1階和室	坂東 三太映
バレエ	水	3:50～5:00	54,000円	トレーニングルーム	天木 真那美
中3英会話	月	3:50～5:00	40,000円	多目的室③	D. カントリマン
中学英語外部試験対策A1	金	3:50～5:00	36,000円		C. ガルシア
中学英語外部試験対策A2	水	3:50～5:00	36,000円		
高校英語外部試験対策	木	3:50～5:00	40,000円		D. カントリマン

※年額授業料のほかに各講座、維持費年額1,000円(ピアノは2,000円)がかかります。

※年額授業料欄の*印は材料費等を含んだ金額です。美術は教材を事前に用意しますのでやむを得ず中退される場合でも、学期末までの教材分は納めていただくこととなります。

※管楽器の個人レッスンは、楽器の準備を含めて約20分です。

※茶道はお道具代として別途約7,000円がかかります。

※各講座とも、★印の高1①・高2①・高3造形以外は週1回です。

I 10 学校生活

生徒指導 ～自由な中にも規律ある校風～

本校は自由な中にも規律ある校風のもとで、生徒の人ひとりが伸び伸びと自分を生かせることを期待しています。この自由には必ず責任をとらなければなりませんから、生徒は自分自身に対してはもちろん、友人や学校さらに社会に対しても、さまざまな責任を自覚することが大切です。そのためには自分の良心によって事の是非を判断する知性と、周囲の人々を思いやる豊かな感性と、自分の言動に責任をとる能力とが一体となった人間をめざした自己研鑽が求められています。

本校では、この趣旨にそって次の目標をかかげ、各自が誇りをもってこの校風を守り充実した学園生活を過ごすための最小限度の生徒心得を決めています。

1. 自律の精神を育みましょう
自分のモラルと集団のルールによって責任のある行動をとりましょう。
2. 自主性を育みましょう
何事にも自ら進んで積極的に取り組みましょう。
3. 自立心を育みましょう
人にたよらず、人に迷惑をかけず、自分らしく生きぬく力を身につけましょう。

■ 時程表

	平 常	短 縮
予 鈴	8 : 25	8 : 25
朝 礼	8 : 30 ~	8 : 30 ~
1 時限	8 : 40 ~ 9 : 30	8 : 40 ~ 9 : 20
2 時限	9 : 40 ~ 10 : 30	9 : 30 ~ 10 : 10
3 時限	10 : 40 ~ 11 : 30	10 : 20 ~ 11 : 00
4 時限	11 : 40 ~ 12 : 30	11 : 10 ~ 11 : 50
昼休み	12 : 30 ~ 13 : 20	11 : 50 ~ 12 : 30
予 鈴	13 : 15	12 : 25
5 時限	13 : 20 ~ 14 : 10	12 : 30 ~ 13 : 10
6 時限	14 : 20 ~ 15 : 10	13 : 20 ~ 14 : 00
終 礼	15 : 10 ~	14 : 00 ~
完全下校完了	中1は17:00まで、中2・3は18:00まで	

★試験一週間前の土曜日と同様です。 ※時程は、交通機関の大幅な遅れや台風・大雪・感染症対策等で変更される場合があります。

■ カウンセリングルーム

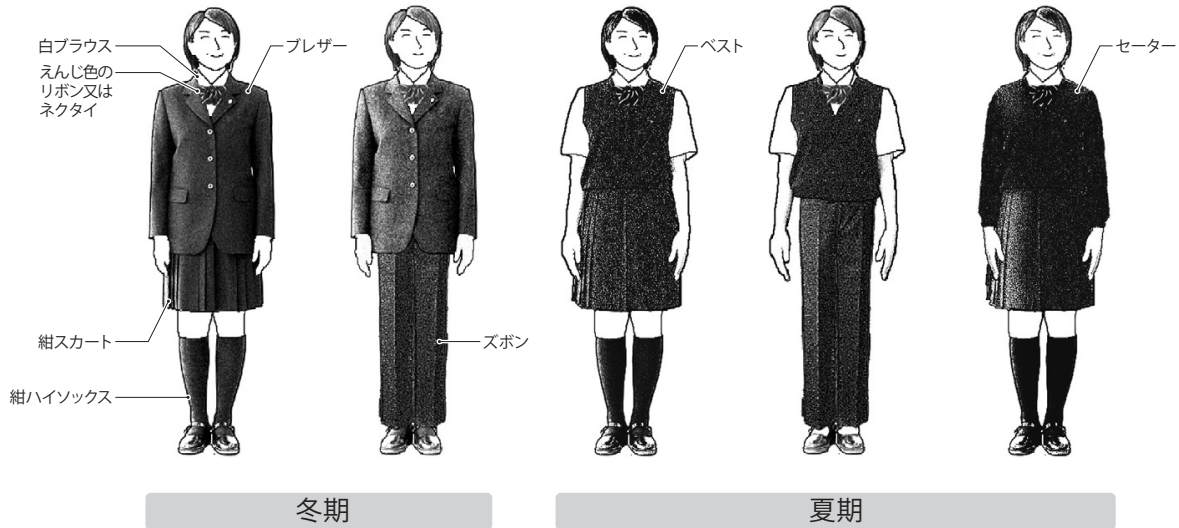
カウンセリングルームでは、専門のカウンセラーが、プライバシーに留意しながら、生徒のカウンセリングを行っています。生徒の利用のみならず、保護者の方々のお子様についての相談もお受けしています。

- [相談日]
- ・月曜日から金曜までの毎日 = 10 : 00 ~ 17 : 00
 - ・土曜日 = 10 : 00 ~ 14 : 00

I 11 制服

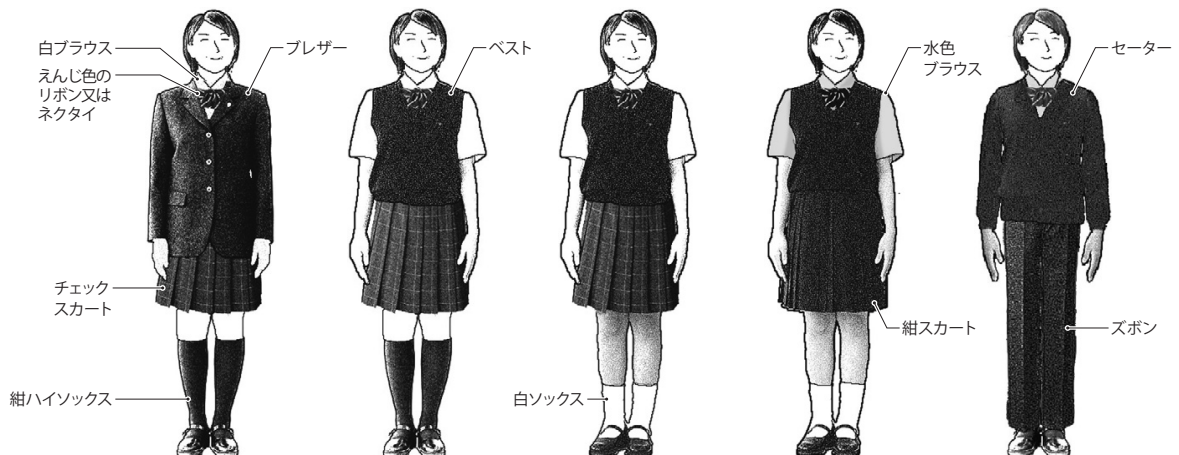
正装時 〈式典時〉

- ブレザー、紺無地スカート又はズボンを着用する。ただし夏期はブレザーを着用しなくてよい。
- 白ブラウス、紺の指定ハイソックス（ズボン着用時は白の指定ソックスも可）を着用する。中学生はえんじ色のリボン又はネクタイを、高校生は紺色のリボン又はネクタイを着用する。
- セーターやベストは随時着用してよい。



平常時

- ブレザーは12月～3月まで登下校時に着用する。
- スカートは紺無地でもチェックでもよい。またズボンでもよい。
- ブラウスは白でも水色でもよい。一年を通じて半袖・長袖どちらを着用してもよい。
- 中学生はえんじ色のリボン又はネクタイを必ず着用する。高校生の紺色のリボン又はネクタイの着用は任意。
- くつ下は年間を通じて紺の指定ハイソックスを着用する。ただし、夏期及びズボン着用時は白の指定ソックスを着用してもよい。冬期は必要に応じて黒タイツを着用してもよい。その場合、ソックスを併用する場合は、黒無地のものを着用する。
- セーターやベストは随時着用してよい。



I 12 生徒会活動

生徒会活動 ～自主自律、連帯感、そして挑戦～

学校生活では、学校行事、ホームルーム、委員会・部活動をはじめとする生徒会活動等の教科外活動も重要な役割を果たし、日頃の授業や教室からは学ぶことのできない、貴重な体験をしています。

委員会

生徒会役員会を中心に、さまざまな行事を企画運営しています。

- 生徒会役員会
- 文化
- 生活向上
- 図書
- 放送
- 園芸
- 保健
- 体育
- 新聞
- IT

運動系部

- バレーボール
- ソフトボール
- テニス
- バスケットボール
- 弓道
- 水球
- ダンス
- バドミントン
- 剣道
- スキー
- 卓球
- サッカー
- 陸上



弓道部



ダンス部



バスケットボール部

文化系部

- 吹奏楽
- 演劇
- コーラス
- 文芸
- 英語ミュージカル
- 科学
- 生物
- 映画研究
- クッキング
- 写真
- 漫画研究
- 軽音楽(高校生のみ)
- 天文
- ボイスレスパフォーマンス
- アフレコ
- 書道
- 歴史
- 競技かるた
- JRC
- クイズ



英語ミュージカル部



軽音楽部



コーラス部

同好会

- 美術

I 13 進路・進学

中学 1 年 **目標** 「環境」を手がかりに社会と自分のつながりを考える

- 進路・生き方を考えるプログラム
 - ・ 社会人へのインタビューとレポート作成 [夏課題]
 - ・ 社会問題レポート作成 [2～3 学期] … クラス代表者によるプレゼンテーション
- 教養・視野を広げるためのプログラム
 - ・ 教養講座
 - ・ 外部講演会参加や大学等による出張講義
- 進路ガイダンス 1 回 (3 月)
- 「吉祥進学」や吉祥進学 Express 等による学習方法・受験情報・進路行事報告等の提供
- Google Classroom による公開講座やコンテストに関する情報提供
- 外部模試 2 回 (ベネッセ 10 月・1 月)

中学 2 年 **目標** 「福祉」を手がかりに社会に貢献する生き方を考える 学問への興味・関心を育てる

- 進路・生き方を考えるプログラム
 - ・ ボランティアレポート作成 [夏課題]
 - ・ 福祉・ボランティアに関するクラスディスカッション
 - ・ 体験学習 (ハンディキャップ体験など)
 - ・ 福祉関係の講演会
- 教養・視野を広げるためのプログラム
 - ・ 教養講座
 - ・ 外部講演会参加や大学等による出張講義
- 進路ガイダンス 1 回 (3 月)
- 「吉祥進学」や吉祥進学 Express 等による学習方法・受験情報・進路行事報告等の提供
- Google Classroom による公開講座やコンテストに関する情報提供
- 外部模試 2 回 (ベネッセ 10 月・1 月)

中学 3 年 **目標** 「平和と国際理解」を手がかりに学問に対する関心を深める ライフプランを作成し、具体的な進路を想像する

- 進路・生き方を考えるプログラム
 - ・ 「平和」をテーマにした探究活動 (探究スキルの育成、探究発表会)、道徳と連携して実施
 - ・ 「ドリームマップ～これまでの自分を振り返り、今後の自分を想像する～」
 - ・ 卒業生 (社会人) 講演会
- 教養・視野を広げるためのプログラム
 - ・ 教養講座
 - ・ 外部講演会参加や大学等による出張講義
 - ・ 大学訪問、企業訪問
- 進路ガイダンス 1 回 (1 月)
- 「吉祥進学」や吉祥進学 Express 等による学習方法・受験情報・進路行事報告等の提供
- Google Classroom による公開講座やコンテストに関する情報提供
- 外部模試 2 回 (ベネッセ 10 月・1 月)

高校1年 **目標** 女性の生き方・職業観の育成・学部学科の選定

- 進路・生き方を考えるプログラム
 - ・「大学入試のしくみ」
 - ・学部学科レポート作成 [夏課題] … クラス代表者によるプレゼンテーション
 - ・文理芸選択説明会
 - ・卒業生（大学生）によるパネルディスカッション
- 教養・視野を広げるためのプログラム
 - ・教養講座
 - ・外部講演会参加や大学等による出張講義
 - ・大学訪問、企業訪問
- 進路ガイダンス2回（4・9月）
- 「吉祥進学」や吉祥進学 Express 等による学習方法・受験情報・進路行事報告等の提供
- Google Classroom による公開講座やコンテストに関する情報提供
- 外部模試3回（ベネッセ2回7・11月、河合塾2月）

高校2年 **目標** 学部学科の選定・第一志望校の設定

- 進路・生き方を考えるプログラム
 - ・大学訪問レポート作成 [夏課題]
 - ・選択科目説明会
 - ・卒業生を囲む会： 現役大学生・大学院生による分科会形式
- 教養・視野を広げるためのプログラム
 - ・教養講座
 - ・外部講演会参加や大学等による出張講義
 - ・大学訪問、企業訪問
- 進路ガイダンス3回（6・10・2月）
- 「吉祥進学」や吉祥進学 Express 等による学習方法・受験情報・進路行事報告等の提供
- Google Classroom による公開講座やコンテストに関する情報提供
- 外部模試3回（ベネッセ2回7・11月、河合塾2月）

高校3年 **目標** 進路目標の達成

- 文化人による講演会（様々な分野で活躍する女性による講演会）
- 教養・視野を広げるためのプログラム
 - ・教養講座
 - ・外部講演会参加や大学等による出張講義
- 進路ガイダンス5回（6・9・10・1・3月）
- 「吉祥進学」や吉祥進学 Express 等による学習方法・受験情報・進路行事報告等の提供
- Google Classroom による公開講座やコンテストに関する情報提供
- 外部模試5回（駿台・ベネッセ1回9月、河合塾4回4・8・10・11月）

*各課題（レポート）は文化祭（吉祥祭）展示のほか、HR でのプレゼンテーション、ディスカッションなどに利用します。

本校の卒業生数 2023～2019年

系 統	年 度		2023	2022	2021	2020	2019
	2023	2022					
文 芸 系	120	130	142	123	133		
理 系	122	118	137	135	118		
合 計	242	248	279	258	251		

本校の大学別合格者数 2023～2019年

■国公立大学

大学名	年 度		2023		2022		2021		2020		2019	
	合格	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役		
北 海 道 大	2	1	8	8	7	4	1	1	2	2		
帯 広 畜 産 大	1	1	0	0	2	1	0	0	0	0		
弘 前 大	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1		
岩 手 大	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		
東 北 大	0	0	3	3	3	2	2	2	0	0		
秋 田 大	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		
山 形 大	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0		
茨 城 大	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0		
筑 波 大	3	3	3	3	6	5	5	5	3	2		
群 馬 大	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0		
埼 玉 大	1	0	2	1	2	1	4	4	0	0		
千 葉 大	3	2	1	1	5	4	7	5	6	4		
東 京 大	6	4	3	3	2	2	4	3	0	0		
東京医科歯科大	1	1	2	2	1	0	5	4	2	2		
東京外国語大	2	2	5	5	3	3	3	3	4	4		
東京学芸大	2	2	2	2	4	4	3	3	4	4		
東京農工大	7	6	5	4	8	6	8	7	7	5		
東京芸術大	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0		
東京工業大	2	2	3	2	2	2	3	3	1	0		
東京海洋大	2	2	2	2	0	0	1	0	2	0		
お茶の水女子大	3	2	4	4	3	2	1	1	3	3		
電気通信大	1	1	1	1	3	2	1	0	0	0		
一 橋 大	6	5	8	8	7	7	3	3	4	4		
横 浜 国 立 大	2	1	3	2	5	5	3	2	3	3		
新 潟 大	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
山 梨 大	1	0	0	0	1	0	1	1	2	2		
信 州 大	0	0	1	0	3	2	1	1	0	0		
富 山 大	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0		
岐 阜 大	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0		
静 岡 大	1	1	1	1	2	1	1	1	0	0		

大学名	年 度		2023		2022		2021		2020		2019	
	合格	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役		
浜 松 医 科 大	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
名 古 屋 大	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0		
三 重 大	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0		
京 都 大	0	0	1	1	3	2	2	1	1	0		
京都工芸繊維大	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0		
大 阪 大	2	0	2	2	3	3	0	0	0	0		
神 戸 大	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0		
奈 良 女 子 大	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0		
鳥 取 大	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0		
島 根 大	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
広 島 大	0	0	0	0	2	1	0	0	1	1		
高 知 大	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0		
九 州 大	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0		
大 分 大	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0		
宮 崎 大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
鹿 児 島 大	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0		
琉 球 大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
国際教養大	0	0	1	1	2	1	1	0	1	1		
福島県立医科大	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0		
埼玉県立大	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0		
東京都立大	6	5	2	2	5	3	6	5	8	4		
横浜市立大	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0		
都 留 文 科 大	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0		
福 井 県 立 大	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
静 岡 県 立 大	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
京都府立医科大	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0		
防 衛 大 学 校	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0		
防衛医科大学校	1	0	3	3	0	0	2	0	3	1		
国立看護大学校	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0		
合 計	63	46	74	63	99	73	81	62	67	44		

■海外大学

大学名	年 度		2023		2022		2021		2020		2019	
	合格	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役		
海 外 大	13	13	14	14	0	0	3	3	5	5		

■私立大学 その1 *は推薦指定校

大学名	年 度		2023		2022		2021		2020		2019	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役		
酪 農 学 園 大	2	2	0	0	5	3	3	2	0	0		
岩 手 医 科 大	1	1	1	0	2	0	1	0	1	0		
東北医科薬科大	0	0	5	5	2	1	4	2	1	0		
国際医療福祉大	7	2	7	4	0	0	5	2	5	3		
獨 協 医 科 大	1	0	1	1	1	0	2	0	0	0		
埼 玉 医 科 大	0	0	2	0	3	2	3	2	3	0		
千葉工業大*	6	6	0	0	1	1	0	0	2	2		
青山学院大*	38	36	56	53	40	38	23	22	25	21		
麻 布 大 *	6	6	4	3	3	2	3	3	4	1		
大妻女子大*	5	5	4	3	3	3	9	9	1	1		
学 習 院 大 *	11	10	12	11	14	9	13	12	17	15		
北 里 大 *	15	13	11	8	21	18	17	13	16	13		
共立女子大*	8	8	7	7	12	12	6	6	4	4		
杏 林 大	15	11	16	11	16	12	8	5	7	6		
国立音楽大*	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1		
慶應義塾大*	38	31	62	57	44	40	58	48	42	33		
工 学 院 大 *	14	12	10	9	31	28	12	10	19	18		
國 學 院 大	8	7	5	5	9	6	4	3	10	8		
国際基督教大*	5	5	1	1	6	6	1	1	7	6		
駒 澤 大	5	2	10	9	7	6	7	6	10	9		
芝浦工業大*	27	23	34	25	36	22	34	28	50	42		

大学名	年 度		2023		2022		2021		2020		2019	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役		
順 天 堂 大	12	11	6	5	2	2	9	7	9	7		
上 智 大	70	67	46	46	45	43	42	38	36	31		
昭 和 大	9	6	13	8	9	6	5	3	7	3		
昭和女子大*	15	15	12	9	20	17	17	17	5	3		
昭和薬科大	4	4	2	1	6	6	5	4	2	1		
女子美術大*	3	3	2	2	0	0	5	5	2	2		
成 蹊 大 *	19	17	8	6	18	16	29	23	6	4		
成 城 大 *	9	9	11	11	13	9	11	10	6	3		
聖心女子大*	4	3	2	2	2	2	2	2	0	0		
聖路加国際大	2	2	1	1	3	3	1	1	3	3		
専 修 大	11	9	16	15	27	26	7	7	11	9		
多摩美術大	8	8	10	10	8	8	11	11	26	24		
中 央 大 *	96	88	81	79	87	73	95	74	56	48		
津 田 塾 大 *	16	16	24	23	12	12	15	11	16	16		
帝 京 大	12	8	7	4	8	6	10	9	11	7		
東 海 大 *	4	4	16	16	5	4	4	3	5	3		
東京医科大	3	3	8	5	5	4	7	5	1	0		
東京慈恵会医科大	1	1	2	2	3	2	4	3	4	2		
東京女子大*	59	58	60	54	58	58	65	56	48	44		
東京女子医科大	4	1	4	2	6	3	7	4	2	2		
東京造形大	6	6	1	1	4	4	2	2	7	7		

■私立大学 その2 *は推薦指定校

大学名	2023		2022		2021		2020		2019	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役
東京電機大*	5	4	16	8	15	5	14	11	13	9
東京都市大*	4	4	7	7	9	8	22	22	13	7
東京農業大*	12	8	28	28	16	13	23	22	45	31
東京薬科大*	9	8	6	5	20	15	8	6	10	10
東京理科大*	51	36	49	43	66	46	58	49	73	56
東邦大*	11	8	7	6	3	3	17	13	11	7
東洋大	24	19	53	47	54	49	38	31	25	19
日本大*	46	36	51	39	73	61	44	35	40	22
日本医科大	0	0	3	0	2	1	5	4	4	1
日本歯科大*	1	1	3	2	0	0	0	0	0	0
日本獣医生命科学大	5	5	6	5	3	3	4	3	4	0
日本女子大*	30	27	43	40	47	42	39	35	35	29
日本赤十字看護大*	2	2	3	3	5	5	0	0	0	0
法政大*	76	63	86	74	89	67	70	61	57	46
星薬科大	5	5	7	7	12	12	9	6	9	8
武蔵大*	6	6	3	3	14	14	5	5	7	7
武蔵野大*	11	11	12	11	20	20	23	15	19	13

大学名	2023		2022		2021		2020		2019	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役
武蔵野美術大*	10	10	6	6	28	21	23	23	29	27
明治大*	120	106	111	99	104	88	123	99	93	75
明治学院大	7	7	11	9	9	9	11	10	3	3
明治薬科大*	14	14	3	3	9	7	14	8	6	6
立教大*	87	81	93	91	90	83	52	48	61	51
早稲田大*	75	68	82	77	80	72	88	73	71	56
聖マリアンナ医科大	3	1	2	0	4	2	0	0	1	1
金沢医科大	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0
愛知医科大	0	0	2	0	2	1	1	0	0	0
同志社大*	1	1	7	7	5	3	5	3	5	4
立命館大*	4	0	12	9	10	4	1	0	4	4
大阪医科薬科大	1	0	0	0	0	0	—	—	—	—
関西大	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
関西医科大	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
近畿大	9	9	4	4	2	2	4	3	0	0
関西学院大	1	1	0	0	8	3	0	0	0	0
その他私立大	58	49	59	48	119	95	76	52	72	48
合計	1,269	1,110	1,357	1,197	1,517	1,267	1,343	1,106	1,198	942

■指定校推薦入試

大学名	2023		2022		2021		2020		2019	
	合格	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役
早稲田大	3	3	7	7	5	5	4	4	4	4
慶應義塾大	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3
国際基督教大	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
東京理科大	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
北里大	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0
芝浦工業大	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
法政大	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
明治大	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
立命館大	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
合計	6	6	13	13	11	11	8	8	7	7

■医学部医学科

大学名	2023		2022		2021		2020		2019	
	合格	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役
国公立大	8	5	7	4	5	3	14	9	7	2
私立大	42	23	62	26	47	22	62	33	37	14
合計	50	28	69	30	52	25	76	42	44	16

2023年度合格
 筑波 2 新潟 1 山梨 1 浜松医科 1 宮崎 1 福島県立医科 1
 防衛医科 1 岩手医科 1 国際医療福祉 3 獨協医科 1 北里 4 杏林 6 順天堂 3
 昭和 5 帝京 2 東海 2 東京医科 3 東京慈恵会医科 1 東京女子医科 4 東邦 2
 日本 1 聖マリアンナ医科 3 金沢医科 1

本校の現役大学進学者数 2023～2019年

系統	2023		2022		2021		2020		2019	
	合格	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役
文芸系	111		118		130		109		116	
理系	80		91		103		107		87	
合計	191		209		233		216		203	

本校の現役大学別進学者数 2023～2019年

■国公立大学

大学名	2023		2022		2021		2020		2019	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役
北海道大	2	1	8	8	7	4	1	1	2	2
帯広畜産大	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
弘前大	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1
東北大	0	0	3	3	3	2	2	2	0	0
茨城大	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0
筑波大	3	3	3	3	4	3	3	3	3	2
群馬大	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0
埼玉大	1	0	2	1	2	1	1	1	0	0
千葉大	2	1	0	0	5	4	7	5	5	3
東京大	6	4	3	3	2	2	4	3	0	0
東京医科歯科大	1	1	2	2	1	0	3	3	2	2
東京外国語大	1	1	4	4	2	2	2	2	3	3
東京学芸大	2	2	2	2	3	3	2	2	3	3
東京農工大	7	6	5	4	7	5	6	5	6	5
東京芸術大	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0
東京工業大	2	2	3	2	2	2	3	3	1	0
東京海洋大	2	2	1	1	0	0	0	0	2	0
お茶の水女子大	3	2	3	3	2	1	1	1	3	3
電気通信大	1	1	1	1	3	2	1	0	0	0
一橋大	6	5	7	7	6	6	3	3	4	4
横浜国立大	2	1	1	0	4	4	3	2	2	2
山梨大	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0

大学名	2023		2022		2021		2020		2019	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役
信州大	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0
富山大	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0
静岡大	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0
浜松医科大	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
名古屋大	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0
京都大	0	0	1	1	3	2	2	1	1	0
大阪大	2	0	1	1	2	2	0	0	0	0
神戸大	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
奈良女子大	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
島根大	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
広島大	0	0	0	0	2	1	0	0	1	1
九州大	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
宮崎大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島大	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
琉球大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際教養大	0	0	1	1	1	1	1	0	1	1
福島県立医科大	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0
東京都立大	3	2	1	1	3	2	4	4	5	3
横浜国立大	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0
静岡県立大	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
その他国公立大	0	0	1	0	1	0	7	4	3	1
合計	55	39	59	48	80	58	62	49	52	36

■私立大学

大学名	2023		2022		2021		2020		2019	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役
酪農学園大	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0
岩手医科大	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
国際医療福祉大	2	0	0	0	0	0	1	0	1	1
獨協医科大	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0
千葉工業大	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
青山学院大	9	9	11	10	7	6	4	4	1	1
麻布大	0	0	1	1	0	0	1	1	2	0
大妻女子大	1	1	0	0	0	0	2	2	0	0
学習院大	1	1	1	1	1	1	1	1	4	4
学習院女子大	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0
北里大	4	3	1	1	6	5	5	4	4	4
共立女子大	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1
杏林大	4	3	3	2	5	1	3	2	3	2
国立音楽大	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
慶應義塾大	17	15	32	30	24	21	28	25	24	20
工学院大	1	1	3	2	0	0	1	1	2	2
国際基督教大	3	3	0	0	3	3	0	0	3	3
国士舘大	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
駒澤大	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
芝浦工業大	1	1	5	3	6	5	4	4	3	3
順天堂大	1	1	2	2	1	1	2	1	2	2
上智大	19	17	2	2	5	5	4	3	10	9
昭和女大	3	1	2	1	3	2	1	1	3	1
昭和女子大	2	2	2	1	0	0	2	2	0	0
昭和薬科大	1	1	0	0	0	0	1	1	1	0
成蹊大	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0
成城大	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0
聖心女子大	2	1	1	1	1	1	0	0	0	0
聖路加国際大	0	0	1	1	2	2	0	0	0	0
専修大	0	0	1	0	3	3	0	0	3	2
創価大	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
大正大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
多摩美術大	1	1	3	3	1	1	2	2	9	9
中央大	8	7	7	6	4	3	7	6	8	5
津田塾大	0	0	0	0	1	1	1	0	2	2
帝京大	0	0	1	0	0	0	3	3	3	2
東海大	0	0	1	1	2	1	0	0	2	1
東京医科大	0	0	4	1	2	2	4	2	1	0

大学名	2023		2022		2021		2020		2019	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役
東京経済大	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
東京工科大	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1
東京慈恵会医科大	1	1	0	0	1	0	1	1	2	2
東京女子大	4	4	3	3	5	5	9	8	5	5
東京女子医科大	3	0	1	0	0	0	0	0	1	1
東京造形大	1	1	0	0	2	2	0	0	0	0
東京電機大	1	1	1	1	1	1	2	1	0	0
東京都市大	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1
東京農業大	1	1	2	2	0	0	2	2	4	3
東京薬科大	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0
東京理科大	10	8	3	3	7	5	14	13	10	9
東邦大	2	1	1	1	0	0	1	0	3	1
東洋大	3	1	0	0	3	3	2	2	4	3
二松学舎大	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
日本大	1	0	2	2	5	3	5	3	5	3
日本医科大	0	0	2	0	1	1	0	0	1	0
日本歯科大	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
日本獣生命科学大	0	0	2	2	2	2	2	1	1	0
日本女子大	2	1	7	6	7	6	9	7	5	5
日本赤十字看護大	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
法政大	9	8	7	5	12	8	2	1	7	4
星薬科大	1	1	3	3	0	0	2	1	3	2
武蔵大	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
武蔵野美術大	4	4	2	2	8	6	5	5	4	3
明治大	13	12	19	16	16	16	16	14	10	8
明治学院大	0	0	1	1	2	2	1	1	2	2
明治薬科大	0	0	2	2	2	2	3	1	2	2
立教大	8	8	8	8	8	7	5	4	12	10
早稲田大	20	19	29	27	27	25	27	22	23	19
聖マリアンナ医科大	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
金沢医科大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛知医科大	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
藤田医科大	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
同志社大	0	0	2	2	0	0	0	0	2	1
立命館大	0	0	1	1	0	0	0	0	2	2
近畿大	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
関西学院大	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
その他私立大	1	1	0	0	9	7	11	8	11	3
合計	179	150	192	161	206	175	203	165	219	166

■海外大学 ※9月入学のため、日本の大学へ進学後の海外大進学者を含む

大学名	2023		2022		2021		2020		2019	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役
海外大	2	2	3	3	0	0	2	2	2	2

I 14 国際交流

本校は 1976 年にアメリカ・マサチューセッツ州ボストン近郊にある私立の名門校ウォルナット・ヒル・スクール (WHS) と姉妹校関係を結んで以来、オーストラリア、カナダ、中国、韓国、ベトナムにそれぞれの交流の輪を広げ、総計 9 つの姉妹校・パートナーズスクール・友好校を持つに至りました。

本校の海外交流はこれらの姉妹校・友好校との交流を中心に行われてきました。特に高校生を対象にした夏休みの短期留学は当初アメリカの WHS から始まり、2004 年より現在のオーストラリアのニューイングランド・ガールズ・スクール (NEGS)、2015 年より、イプスウィッチ・ガールズ・グラマースクール (IGGS) に移っています。約 40 年間に 1,400 名を上回る生徒が参加し、更に引率した教員の数は 100 名を超えます。毎年、オーストラリアの IGGS とカナダのクイーン・マーガレット・スクール (QMS)、アメリカのミス・ポーターズ・スクール (MPS) を中心に 10 名程度が一年留学しています。

■カリキュラムに含まれているもの

・カナダ語学体験ツアー

30 年以上にわたり中学 3 年生を対象にホームステイを中心とした語学研修ツアーを、毎年秋に行ってきました。姉妹校 QMS または現地高校訪問、ビクトリアやその近郊でのホームステイ、ビクトリア・バンクーバー観光等を含む約 1 週間のツアーです。英語・英会話の授業を中心に入念な事前学習を経て実施します。2020 年～2022 年は中止となりましたが、2023 年以降は高校 1 年生にて実施の予定です。費用は約 55 万円です。

■希望者対象のツアー

・オーストラリアセミナー

高校生を対象として、夏休みに実施しています。オーストラリアの IGGS で約 1 週間の英語研修を行うセミナーです。費用は約 57 万円です。2020 年～2022 年は中止となりましたが、2023 年度から再開予定です。

・春季海外研修

高校生を対象として、春休みに実施します。ベトナムまたはマレーシアを約 1 週間訪れ、現地の人々と交流します。費用は約 21 万円です。2020 年～2022 年は中止となりました。再開を検討中です。

1 年留学の制度（高校生のみ対象）

本校では、10 か月以上 12 か月以内の期間、高校生が海外の高校（正規の後期中等教育機関）に在籍し、学習を希望する場合は、1 年間の留学を許可する制度があります。1 年留学には、**帰国後に留学出発時の同級生の学年に復帰する「特認」留学と、帰国後に 1 学年下の学年に所属する「休学」留学の 2 種類**があります。また、留学先は基本的には英語圏にある本校姉妹校の QMS、IGGS、MPS となりますが、本人、ご家庭の責任のもとに選択された、外部団体の斡旋による留学先、または全て個人の手続きによる留学先への留学も可能です。

姉妹校への留学を希望する場合や、外部団体または個人による留学で特認留学を希望する場合は、外部英語試験のスコア提出と、秋に本校の定める留学テストに合格する必要があります。

■特認扱いの留学と休学扱いの留学

(1) 特認扱いの留学

海外での留学終了後、本校に戻ってからは、次の学年に在籍し、3 年間の高校生活が吉祥で 2 年、海外で 1 年という形になります。留学中の単位を 30 ～ 34 単位まで本校の単位として認定します。

(2) 休学扱いの留学

海外での在籍期間を本校では休学扱いとし、海外の留学終了後は、留学出発時の学年への在籍となります。吉祥で3年間フルに高校生活を送りたいと考える場合は、この形となります。留学中の単位は本校の単位として認定されません。

■留学に際しての注意

留学中は各学校の正規授業を受けます。英語力に応じて、英語を第一言語としない生徒が受講する英語の授業(ESL、ELL等)を追加受講する場合があります。姉妹校留学中の滞在は全て寮となります。ただし、長期休暇期間はその限りではありません。なお、外部団体による公立高校への留学は、団体により異なりますが、学費は無料・滞在はホームステイで無償か有償のため、費用は安く抑えられるというメリットがあります。ただし、一般的には、どの学校・どの家庭かは直前までわかりません。

1年留学の留学先(姉妹校・パートナーズクール)紹介

※2023年度の情報です。※留学期間は、実際の出発日・帰国日ではありません。

■Queen Margaret's School (QMS)

カナダ、ブリティッシュ・コロンビア州ダンカン市にある私立共学校。留学期間は9月1日～翌年7月20日(吉祥の2学期から翌年度1学期)。

1年間の学費・寮費・食費・諸費用等は85,000CAD(約850万円)。全体の費用から例年は、「吉祥割引」があります。個人負担は約680万円程度となります。2022年度は高1生が4名留学しました。2023年度は高1生が2名留学予定です。コンピュータでオンライン英語テスト・事前研修があります。

■Ipswich Girls' Grammar School (IGGS)

オーストラリア、クィーンズランド州イプスウィッチ市にある私立学校。留学期間は1月8日～同年12月20日(吉祥の3学期から翌年度2学期)。吉祥からは2015年度より、夏休み中にオーストラリアセミナーとして実施している、短期語学研修の研修先でもあります。吉祥の創立80周年を記念して、2018年に姉妹校となりました。1年間の学費・寮費・食費・諸費用等は、70,000AUD(約650万円)。2022年度は高3生が2名留学しました。

■Miss Porter's School (MPS)

アメリカ合衆国、コネチカット州ファーミントン市にある私立女子校。留学期間は7月5日～翌年6月10日(吉祥の1学期途中から翌年度の1学期途中)。2019年9月より吉祥からの一年留学生最大2名までの受け入れを開始しました。1年間の学費・寮費・食費・諸経費などは77,000USD(約1070万円)。選抜方法は2段階で、本校留学テストの他、オンラインの英語面接、コンピュータ上で時間制限のある英作文のテストがあります。夏休みの現地での事前研修からの参加となります。2023年度は高1生が1名留学予定です。

姉妹校・パートナーズクール・友好校など



① Queen Margaret's School (QMS)

1921年創立。ブリティッシュ・コロンビア州バンクーバー島ダンカンにある、英国国教会系の私立女子校として創立されました。様々な国の留学生を受け入れており、多民族国家のカナダらしい、国際色豊かな学校です。通常の勉強以外にも乗馬や教会合唱隊、さらにディベートやパブリックスピーチなど特色ある教育内容を誇っています。1988年以来姉妹校関係にあります。2019年までは中学3年生がカナダ語学体験ツアー中の10月に訪問し、セレモニーやランチ、校内ツアーや文化交流会などを通して親睦を深めてきました。QMSの高校生が短期留学で吉祥を訪れる年もあります。また、本校で英語の能力において優れた成果をあげた中学3年生1名には、QMSよりQMS英語賞が授与されます。2019年9月より男女共学となりました。カナダ語学体験ツアーは2023年より高1で実施となっています。毎年1～4名の高校生が1年留学をします。



② Miss Porter's School (MPS)

1843年創立。コネチカット州ボストン近郊にある私立女子校です。Jacqueline Kennedy Onassis（ケネディ元大統領夫人）や、Alice Hamilton（女性初のハーバード大学教員）など、各界に女性リーダーを送り出している名門校です。2015年度よりパートナーズクールとして交流を持ち、吉祥の3学期に約2週間にわたって16名程度の短期留学生在が来校し、吉祥生とともに学校生活を送りました。期間中は、本校生徒宅にてホームステイを行いました。2019年7月より1年留学が可能になりました。オンラインでの週末留学などを行っています。毎年1～2名の高校生が1年留学をします。



③ Ipswich Girls' Grammar School (IGGS)

1891年創立。クイーンズランド州にある私立学校です。中学及び高等学校のほかにも附属小学校や幼稚園、保育施設が併設されている一貫教育を行っています（小学生まで男女共学、以後女子校）。2015年度より交流を持ち、高校生を対象とした夏の語学研修を開始しました。ホームステイを経験しながら、研修中はESLや現地の生徒たちと同じ授業に参加します。2020年1月から1年留学が可能になりました。オンラインでの授業交流や動画での学校交流を行っています。毎年1～2名の高校生が1年留学をします。



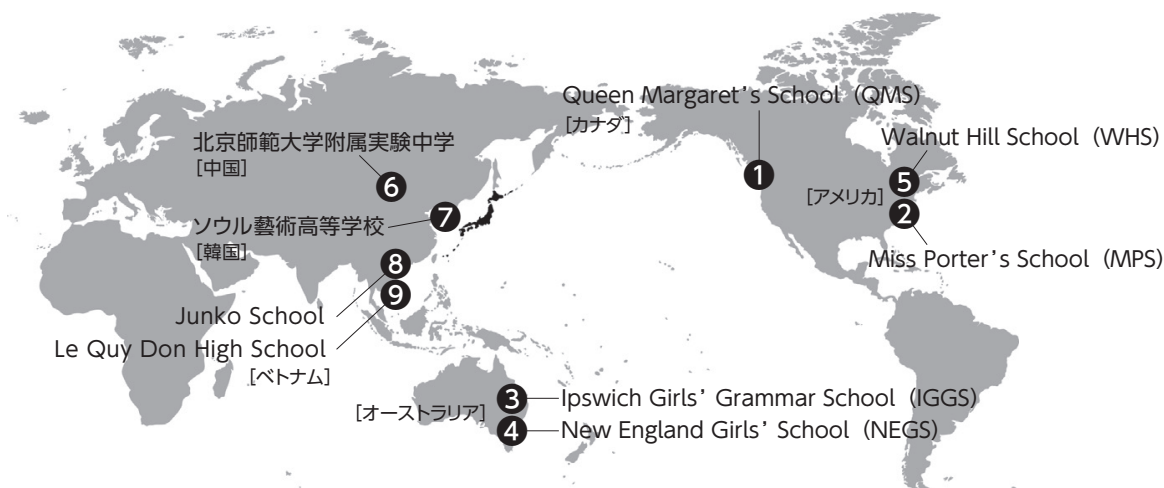
④ New England Girls' School (NEGS)

1895年創立。ニューサウス・ウェールズ州アーミデールにある私立女子校です。幼稚園から高校まで備え、広大な敷地内には寄宿舎のほか馬場もあり、正規の授業に乗馬も取り入れています。英国国教会の伝統を受け継ぎながらも、コンピューターコースなどの新しい分野での教育にも力を入れています。スポーツ・課外活動などの諸活動も盛んです。本校とは1981年以来姉妹校関係にあります。



⑤ Walnut Hill School (WHS)

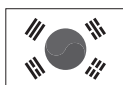
1893年創立。マサチューセッツ州ネイティックにあります。以前は名門女子大ウェルズリー大学への進学準備校として有名でしたが、現在は美術・音楽・演劇・バレエなどの芸術教育で有名です。芸術大学への進学を目指す生徒を世界各国から受け入れています。吉祥とは1975年から姉妹校関係にあり、交流を行ってきました。



⑥北京師範大学附属実験中学

The Experimental High School Attached To Beijing Normal University

1917年創立。懇切丁寧な授業と学生の模範となる質の高い教授を多数擁し、更に「治学厳謹・校風淳朴」（学問追求への厳しさと素朴な校風）で絶えず全国的に名声を博しています。生徒募集を全北京市より統一試験によって行い、合格最低ラインは200点中196点以上という「重点中学」（エリート校）です。1969年、文化大革命以後は共学となり、今日に至っています。本校とは1987年以来姉妹校関係にあります。春休みに中国研修ツアーとして高校生が訪問し、交流を行ってきました。



⑦ソウル藝術高等学校

Seoul Arts High School

1953年創立。キリスト教精神に基づいて、音楽・美術・舞踊・の早期教育を目標に学校法人梨花学園が創立し、ソウル藝術高校と梨花女子高校がそこに含まれています。芸術の専門的な基礎教育を実施しつつ高等学校において必須教育科目を全部教えることによって芸術と教育との両面にかけて個性と資質を伸張させ、韓国の最高学府ソウル大学に毎年数十名の合格者を出している進学校です。本校とは1986年以来友好校関係にあります。吉祥は、1989年春245名、1990年秋355名、1991年春31名の生徒が韓国研修ツアーの際にこの姉妹校を訪問し、交流を深めました。また、1991年夏には同校の舞踊団が東京公演を行い、更に1993年には吉祥55周年記念行事の一環として視聴覚行事のために再び吉祥を訪れ、吉祥生ならびに保護者の方々の感動を呼びました。



⑧ Junko School

ベトナムのダナン市に近いファンナム省にある小学校。Junkoという名は、本校卒業生である高橋淳子さんに由来します。高橋さんはアジア経済を学び、アジアの初等教育に貢献したいという志を持っていましたが、若くして急逝しました。彼女の遺志を継ぎ、1995年、遺族が元々あった小学校を改築しJunko Schoolとして開校しました。アジア研修ツアーでベトナム訪問時に交流します。



⑨ Le Quy Don High School

1986年創立の約1,000人の生徒が学ぶ国立の進学校。理系科目・社会科学・人文科学で専門的な教育プログラムを実施しています。外国語は英語・フランス語・日本語の授業が設置されており、約50名の生徒が日本語を学んでいます。アジア研修ツアーでベトナム訪問時に日本語と英語で交流します。

I 15 キャンパス内の大理石とモットー

本校には5体の大理石像があります。

① エベ

“青春の美・青春の花”
1・2号館エントランスホール




② ヴィーナス

5号館2階

③ プロヒューモ

“香り”
6号館ホール



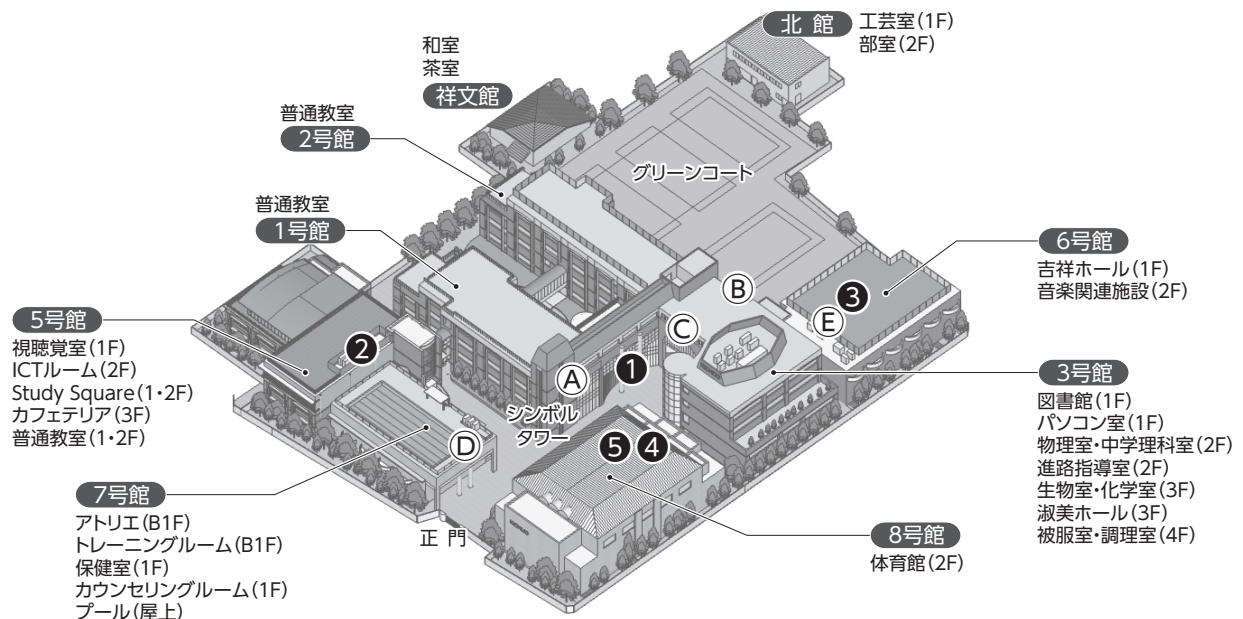
WHAT IS A SINGING HERE TO BE
HAPPINESS CAN BE YOURS
IF YOU GRESH THE TRUTH
AND MAKE USE OF IT FOR ALL

④ スコシオ

“躍動”
8号館1階図書館側

⑤ リズヴェーリエ

“目覚め”
8号館ラウンジ



本校の建物には、次のような motto がラテン語で刻まれています。

A VERITAS

“真理”
1号館シンボルタワー



D INGENIUM VERTRUM EXCOLITE

“個性を十分に伸ばしましょう”
7号館玄関



B OFFICIVM PRAESTA · MCMXXX VIII

“己の責任を果たせ・1938年（創立年）”
3号館北面

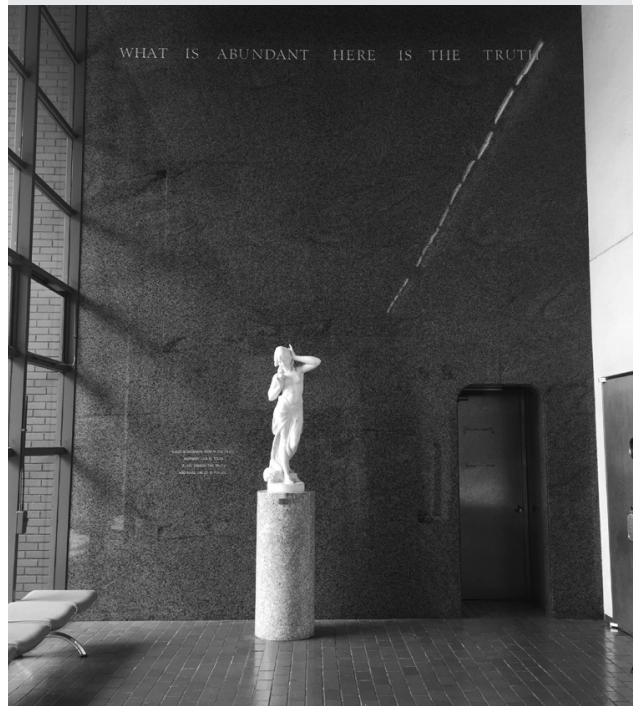


C SEVERVS TIBI ALIIS FACILIS ESTO · MM III

“己に厳しく他に優しく・2003年（65周年）”
3号館南面

E WHAT IS ABUNDANT HERE IS THE TRUTH HAPPINESS CAN BE YOURS IF YOU CHERISH THE TRUTH AND MAKE USE OF IT FOR ALL

“溢れ出るものこそが真実である。それを大切に
し、人のために生かせばあなたは幸せとなるう”
6号館ロビー



I 16 2023 年度学納金

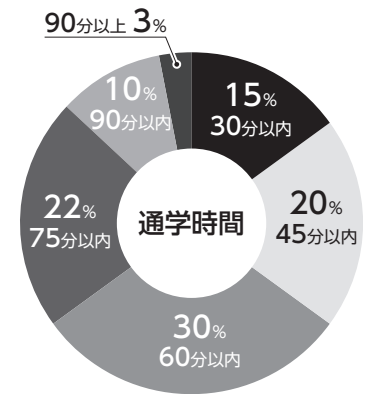
入学手続納入金 ①	入 学 金 施設拡充費	250,000 円 70,000 円
	小 計	320,000 円
学費 [年額] ②	授 業 料 施設維持費 諸 経 費	508,200 円 132,000 円 22,800 円
	小 計	663,000 円
合 計 (①+②)		983,000 円

- 1.学費は3期分納とし、ご指定の銀行口座から自動振替となります。
- 2.上記の他に、祥美会（保護者の会）入会金 5,000 円、同年会費 16,800 円、同特別後援費年額 36,000 円、生徒会入会金 4,000 円、同年会費 6,000 円があります。
- 3.教育施設・設備の充実及びその維持のため、入学後、一口5万円、一口以上の寄付（任意）にご協力下さい。
- 4.高校進学時には、中学入学時と同様に入学手続納入金を納めていただきますが、学納金のうち50,000円は免除となります。

I 17 生徒居住地・通学時間

地 域	人 数
足立区	5
荒川区	13
板橋区	29
江戸川区	16
大田区	7
葛飾区	3
北区	14
江東区	53
品川区	16
渋谷区	24
新宿区	73
杉並区	221
墨田区	5
世田谷区	93
台東区	8
中央区	12
千代田区	9
豊島区	47
中野区	78
練馬区	169
文京区	59
港区	16
目黒区	9
昭島市	5
稲城市	2
清瀬市	4
国立市	23
小金井市	44

地 域	人 数
国分寺市	22
小平市	22
狛江市	4
立川市	17
多摩市	4
調布市	29
西東京市	39
八王子市	15
羽村市	2
東久留米市	5
東村山市	17
東大和市	4
日野市	11
府中市	19
福生市	2
町田市	4
三鷹市	55
武蔵野市	81
武蔵村山市	1
朝霞市	2
入間市	6
川口市	5
川越市	2
越谷市	1
さいたま市	23
狭山市	4
志木市	6
所沢市	31



※2022年6月現在

地 域	人 数
戸田市	6
新座市	7
東松山市	1
富士見市	1
八潮市	1
和光市	6
蕨市	2
市川市	9
浦安市	2
船橋市	2
八千代市	1
川崎市	9
相模原市	4
横浜市	4
合 計	1,545

※2023年1月現在

I 18 各教科の取り組み

基礎学力から大学入試問題を解く力まで

中高6ヶ年を見据えて中高間での重なりをなくし、スムーズかつ着実に学習が進められるようカリキュラム（教育課程）が組まれています。中学では学力の基礎となる国語、社会（地理歴史・公民）、数学、理科、英語には特に多くの時間を配当し、中学3年次の後半からはほとんどが高校の内容に入っていきます。

国語

私たちは、「日本語」を通して他者とのコミュニケーションを図っています。「国語」という教科では、この「日本語」で書かれた文章を読み味わいながら、語句の意味を的確に理解し、適切に表現する能力を身につけることを第一の目標としています。「国語力」は、全教科の根幹となります。中1から高1までの4年間に、教科書のみならずさまざまな作品に触れることによって、より深い読解力、思考力、表現力を身につけていきます。「国語」は、近代以降に書かれた文章を読む「現代文」と先人の残した文学の集積を学ぶ「古典」に分かれます。

「現代文」については、検定教科書の他に本校オリジナルテキストの『吉祥読本』やプリント教材を使用します。また、中3からは高等学校の検定教科書を用います。難度の高い優れた文章を読むことで、読解力や思考力をさらに伸ばせるようにしています。また、一方的に教わるだけでなく自ら探究する姿勢を身につけるために、図書館での資料収集やグループ学習の機会を設け、読書も奨励しています。

「古典」については、中1から百人一首をはじめ「古文」、「漢文」を積極的に取り入れ、音読を重視しながら現代につながる日本文化の礎を自然に感じることができるよう配慮しています。中1では『吉祥読本』、中2以降は『ニューエイジ古典基礎1』を副教材として使い、現在まで価値が認められてきた優れた文章を読むことで、読解力や思考力をさらに伸ばせるようにしています。「現代文」の授業同様、中3からは高等学校の検定教科書を用います。

高1では、将来いずれの方面に進むにしても必要な内容を総合的に学びます。高2からは、それぞれの進路に応じた授業を展開します。高3では、問題演習を多く取り入れ、大学入試に対応できる力を養います。また、新聞記事や各種評論文にも目を向けて幅広く知識を蓄え、小論文にも対応できる力を身につけられるよう工夫をしています。

使用教科書

中1～中3 『国語』（光村図書）
『現代の書写』（三省堂）

使用副教材

中1 『原色小倉百人一首』（文英堂）
中1～中3 『吉祥読本』（吉祥女子中学・高等学校） 『国語活用資料集』（新学社）
『問題中心の新文法ノート』（浜島書店）
『漢検5級～2級 常用漢字の級別学習コンプリート』（京都書房）
中2～中3 『新しい古典文法』（桐原書店）
『古典文法クリアノート』（尚文出版）
『ニューエイジ古典基礎1』（第一学習社）
中3 『漢文必携』（桐原書店）
『現代の国語』『言語文化』（筑摩書房）

■ 中学1年から高校1年までの授業内容

国 語

	現代文 3時間	古 典 2時間
中学1年	多くの作品を読み、読解力や表現力を養う。	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 詩、随筆、説明文、小説（ヘルマン・ヘッセ、芥川龍之介、井伏鱒二など）を読む。 ■ 漢字テストを実施し、基本的な常用漢字を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 百人一首や「竹取物語」「宇治拾遺物語」、故事成語などを学習する。 ■ 和歌の技巧や初歩的な文語文法を学ぶ。 ■ 漢文訓読の基礎を知る。 ■ 口語文法を学ぶ。
中学2年	現代文 3時間	古 典 3時間
	作品を多様な視点から読み、読解力や思考力を深める。	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 太宰治、安岡章太郎、葉山嘉樹、芦原義信などの著作を読む。 ■ 漢字テストを実施し、徐々に難度の高い常用漢字を身につけ、語彙を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「平家物語」「徒然草」「枕草子」「漢詩」などを学習する。 ■ 文語文法（用言の活用）を学ぶ。 ■ 漢文訓読について学ぶ。
中学3年	現代文 2時間	古 典 3時間
	高校の学習に向けたより高度な内容を学習し、論理的思考力を育み、表現力を養う。	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 井上ひさし、魯迅、山崎正和、養老孟司、岩井克人などの著作を読む。 ■ 漢字テストを実施し、常用漢字を確実に身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「十訓抄」「おくのほそ道」「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」「論語」「史記」などを学習する。 ■ 文語文法（助動詞）を学ぶ。 ■ 漢文訓読に習熟する。
高校1年	現代の国語 2時間	言語文化 2時間
	より難度の高い内容を学習し、読解力、思考力、表現力を高める。	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実社会における国語の諸活動に必要な資質、能力を養うための論理的文章を中心に読み、自己の考えを論述する。 ■ 漢字テストを実施し、常用漢字を確実に身につけ、語彙を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 古典を主として上代から近現代に受け継がれてきた我が国の言語文化への理解を深める教材を読む。 ■ 文語文法（助詞・敬語）を学ぶ。 ■ 漢文の句法に習熟する。

社 会

社会的な問題意識や理解、歴史的な思考力、資料の分析能力、ディベート・ディスカッションなどによる自己表現力、新聞・レポートの作成力など、単なる暗記ではなく、多岐にわたり生徒の能力を高めることを目標としています。

中1・中2では「地理」と「歴史」を並行して学習しますが、基礎的なレベルにとどまらず、発展的教材（地理）や独自プリント（歴史）などを用いて、高校の内容にまで踏み込んだ本格的な学習を進めていきます。地理は読んで字のごとく「大地の理（^{ことわり}筋道・理由）」を学ぶ科目であり、「なぜ？」という問いを大切に、筋道を立てて考えることが重要です。そのため地理の授業では、地図や統計、写真といった資料を駆使して好奇心を高めつつ、世界や日本のあり方を理解し、視野を広げることを目標としています。歴史の授業では、単に断片的な知識ではなく、日本の歴史を中心として、各時代ごとに背景となる世界の歴史にも触れながら、総合的な歴史像をつくりあげることを目指します。また、歴史学習を通じて社会的な視野を広げ、現代社会を柔軟で多様な視点からとらえるようにすることも目標としています。

中3では「地理」と並行して「公民」を学習します。公民を学習する際にもっとも大切なのが、「自分は社会をつくる主体である」という当事者意識を持つことです。自分は今どのような社会に生きているのか、この社会はどのような問題に直面しているのかを正しく知り、その上で自分はその問題にどう対処すべきなのかを主体的に考え、表現できる力を身につけることを目標としています。具体的には、高校レベルの副教材を併用し、青年期の課題、女性の生き方、現代社会の課題、民主政治と人権思想、日本国憲法などの分野を学び、高校の学習へとつなげていきます。

高校では、社会科は地理歴史科と公民科に分かれます。まず公民科については、高1では中3の公民を引き継ぐ形で「公共」を履修し、政治分野のほか、経済分野や倫理分野についても学びます。このような形で中3から高1の2年間をかけて、重複なく総合的に公民分野を学習していきます。また、地理歴史科では高1で「歴史総合」、高2で「地理総合」を全員が履修し、さまざまな分野の知的蓄積を通して、現代社会の諸課題を多角的に分析・考察します。その上で、高2・高3ではそれぞれの進路希望に応じて「日本史探究」「世界史探究」「地理探究」などを選択して学習し、総合的な社会観の育成を目指します。その際、大学入試レベルにも十分に対応した高度な水準の授業を展開します。

使用教科書	中1～中3	『中学生の地理』（帝国書院）
	中1～中2	『中学生の歴史』（帝国書院）
	中3	『中学生の公民』（帝国書院）

使用副教材	中1～中3	『中学校社会科地図』（帝国書院）
		『アドバンス中学地理資料』（帝国書院）
	中1～中2	『資料カラー歴史』（浜島書店）
	中3	『最新公共資料集』（第一学習社）

■ 中学1年から高校1年までの授業内容

社会 | 地理歴史・公民

		地 理	2 時間	歴 史	2 時間
中学1年		<p>地理分野では、私たちの生きる現代の世界・日本の様子を、まず地理的思考の基礎となるさまざまなテーマに沿って見渡した後、世界、そして日本の地域ごとに詳しく学んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地球と地図 ■ 世界の自然環境 ■ 国、人、社会 ■ 世界の諸地域 東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア・西アジア・北アフリカ 		<p>歴史分野では、日本の歴史を中心とし、各時代ごとにその背景となる世界の歴史にもふれながら、総合的な歴史像をつくりあげることを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 古代国家の成立と東アジア（原始・古代） 旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代、飛鳥時代、奈良時代、平安時代 ■ 武家政権の成長と東アジア（中世） 鎌倉時代、室町時代 	
		<p>地 理</p> <p>1 時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 世界の諸地域 中南アフリカ、ヨーロッパ、ロシア、北アメリカ、中南アメリカ、オセアニア 		<p>歴 史</p> <p>2 時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 武家政権の成長と東アジア（中世） 室町時代、戦国時代 ■ 武家政権の展開と世界の動き（近世） 織豊政権期、江戸時代前期、江戸時代中・後期 ■ 近代国家の歩みと国際社会 幕末・明治維新期、明治中・後期、大正期、昭和（戦前）期 ■ 現在に続く日本と世界（戦後） 	
中学2年		<p>地 理</p> <p>1 時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 日本の自然環境 地形図を読む、日本の位置と領土、地形の特徴、気候の特徴と気候区分、災害とその対処 ■ 日本の産業 農林水産業、鉱工業、商業と貿易、交通と通信 ■ 日本の社会 人口問題、都市と農村の諸問題、諸地域の文化や生活、世界とのつながり 		<p>公 民</p> <p>3 時間</p> <p>高校レベルの副教材を併用。高1で学ぶ「公共」と連携する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 青年期を生きる 青年期の課題、社会に参加する、女性として生きる ■ 現代社会の課題を知る 科学技術の発達と生命、少子高齢化と社会保障 ■ 政治について考える 政治とは何か、近代立憲主義の広がり、日本国憲法の成立と特徴、基本的人権の尊重、平和主義と安全保障、日本の政治機構 	
		<p>歴史総合</p> <p>2 時間</p> <p>歴史総合は世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉え、近現代の歴史を理解・考察する。歴史の大きな変化に着目し、問いを設け、資料を活用しながら歴史の学び方を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 結び付く世界と日本の開国 ■ 国民国家・形成 ■ 近代化と現代的な諸課題 ■ 国際秩序の変化や大衆化 ■ グローバル化 		<p>公 共</p> <p>2 時間</p> <p>社会に参画する際に選択・判断するための手掛かりとなる概念や、理論・公共的な空間における基本的原理を習得する。「人間と社会の在り方についての見方・考え方」を働かせ、考察、構想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 主権者である国民の意思を政治に反映させるしくみ ■ 経済原理と日本経済の諸課題 ■ 公共的な存在としての人間の生き方 ■ 国際政治・経済のしくみ 	
中学3年		<p>地 理</p> <p>1 時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 日本の自然環境 地形図を読む、日本の位置と領土、地形の特徴、気候の特徴と気候区分、災害とその対処 ■ 日本の産業 農林水産業、鉱工業、商業と貿易、交通と通信 ■ 日本の社会 人口問題、都市と農村の諸問題、諸地域の文化や生活、世界とのつながり 		<p>公 民</p> <p>3 時間</p> <p>高校レベルの副教材を併用。高1で学ぶ「公共」と連携する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 青年期を生きる 青年期の課題、社会に参加する、女性として生きる ■ 現代社会の課題を知る 科学技術の発達と生命、少子高齢化と社会保障 ■ 政治について考える 政治とは何か、近代立憲主義の広がり、日本国憲法の成立と特徴、基本的人権の尊重、平和主義と安全保障、日本の政治機構 	
高校1年		<p>歴史総合</p> <p>2 時間</p> <p>歴史総合は世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉え、近現代の歴史を理解・考察する。歴史の大きな変化に着目し、問いを設け、資料を活用しながら歴史の学び方を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 結び付く世界と日本の開国 ■ 国民国家・形成 ■ 近代化と現代的な諸課題 ■ 国際秩序の変化や大衆化 ■ グローバル化 		<p>公 共</p> <p>2 時間</p> <p>社会に参画する際に選択・判断するための手掛かりとなる概念や、理論・公共的な空間における基本的原理を習得する。「人間と社会の在り方についての見方・考え方」を働かせ、考察、構想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 主権者である国民の意思を政治に反映させるしくみ ■ 経済原理と日本経済の諸課題 ■ 公共的な存在としての人間の生き方 ■ 国際政治・経済のしくみ 	
		<p>地 理</p> <p>1 時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 日本の自然環境 地形図を読む、日本の位置と領土、地形の特徴、気候の特徴と気候区分、災害とその対処 ■ 日本の産業 農林水産業、鉱工業、商業と貿易、交通と通信 ■ 日本の社会 人口問題、都市と農村の諸問題、諸地域の文化や生活、世界とのつながり 		<p>公 民</p> <p>3 時間</p> <p>高校レベルの副教材を併用。高1で学ぶ「公共」と連携する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 青年期を生きる 青年期の課題、社会に参加する、女性として生きる ■ 現代社会の課題を知る 科学技術の発達と生命、少子高齢化と社会保障 ■ 政治について考える 政治とは何か、近代立憲主義の広がり、日本国憲法の成立と特徴、基本的人権の尊重、平和主義と安全保障、日本の政治機構 	

数 学

柔軟な思考力と物事を多角的に捉える力を養うことを重視し、授業を展開しています。そのために、基本的な知識や計算力の徹底を図り、グラフを用いた図式化や記号化などの方法で条件を整理して問題を解く演習を、多く取り入れています。

中学では、『体系数学』という中高一貫用の教材を使用しながら、授業を進めていきます。このテキストは検定教科書とは単元の配列が異なります。例えば、検定教科書では中1と中2に分けて学習することになっている「文字と式の計算」や「1次方程式・連立方程式」をまとめて学習できるようになっています。このように、先の学習につながる上級学年の内容を積極的に取り入れる中で、重要事項に繰り返し触れ、知識が層をなして積み上がるように工夫しています。

家庭学習用には、『体系数学』に準拠した『PYXIS』という問題集を用意しています。そのため、上記のような順序で授業が進んでも、生徒達は授業内容を家でしっかりと復習することが可能となっています。

中2の3学期には中学の学習内容はすべて終了し、高校の内容に進みます。「どのように問題にアプローチすればよいか」、「どのような解答を書けば読み手に伝わるか」などを、より意識しながら時間をかけて解くことが必要になります。そのため、中2の後半からは『Focus Gold』という参考書も用いて学習を進めていきます。そして中学卒業までには、高1の学習内容がほぼすべて終了します。

高校では、中学で学んだ基礎事項を基盤として、総合力を身につけることを目標としています。文系では高1修了時、理系では高2修了時までには高校の教科書の内容をほぼ終了します。その後は、進路達成に向けた演習を行い、難関校の入試にも対応できる力をつけていきます。また、高2・高3では進路目標別・習熟度別の少人数の授業を実施しています。

使用教科書

中1～中2	『体系数学 1 代数編』(数研出版)
	『体系数学 1 幾何編』(数研出版)
	『体系数学 2 代数編』(数研出版)
	『体系数学 2 幾何編』(数研出版)
	『高等学校数学 I』(数研出版)
中3	『高等学校数学 I』(数研出版)
	『高等学校数学 A』(数研出版)
	『数学 II』(数研出版)
	『数学 B』(数研出版)

使用副教材

中1～中2	『PYXIS (代数編 I)』(育伸社)
	『PYXIS (幾何編 I)』(育伸社)
	『PYXIS (代数編 II)』(育伸社)
	『PYXIS (幾何編 II)』(育伸社)
	『クリアー数学 I + A』(数研出版)
	『Focus Gold I + A』(啓林館)
中3	『クリアー数学 I + A』(数研出版)
	『クリアー数学 II + B』(数研出版)
	『Focus Gold I + A』(啓林館)
	『Focus Gold II』(啓林館)
	『Focus Gold B + C』(啓林館)

■ 中学 1 年から高校 1 年までの授業内容

数 学

数 学		4 時間
代 数	幾 何	
中学 1 年	計算演習を繰り返し行なうことによって、文字式の扱いに慣れ、演算を速く正確に行うことができるようにする。	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 正負の数 ■ 式の計算 ■ 1 元 1 次方程式・連立方程式 ■ 1 元 1 次不等式・連立不等式 ■ 比例と反比例 ■ 1 次関数 	図形の基本的な性質を学習したのち、「証明」を通して論理的な思考の大切さを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 平面図形の基礎 ■ 空間図形 ■ 図形と合同 ■ 三角形と四角形
代 数	3 時間	幾 何
3 時間		3 時間
中学 2 年	複雑な文字式を自由に扱うことができるようにし、それらを様々な問題に応用する力を養う。	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多項式の展開・因数分解 ■ 平方根 ■ 2 次方程式 ■ 2 乗に比例する関数 ■ 2 次関数（高校数 I の内容） 	自明ではないことがらを、論理の積み重ねによって証明する力を養い、図形の諸性質を応用する力を育てる。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 図形と相似 ■ 線分比・面積比 ■ 円 ■ 三平方の定理 ■ データの分析（高校数 I の内容）
数学 I	3 時間	数学 A
3 時間		3 時間
中学 3 年	さまざまなことがらを体系的に理解し、初見の問題でも自力で解決する力を養う。1 年を通して高校の教科書の内容を扱う。	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 集合と命題（高校数 I の内容） ■ 三角比（高校数 I の内容） ■ 図形と方程式（高校数 II の内容） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 場合の数と確率（高校数 A の内容） ■ 式と証明（高校数 II の内容） ■ 複素数と方程式（高校数 II の内容） ■ 数列（高校数 B の内容）
数学 I	3 時間	数学 A
3 時間		2 時間
高校 1 年	学んだことがらがどのように利用できるかを考え、より複雑な問題を解決する力を養う。	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 指数関数と対数関数（数 II の内容） ■ 三角関数（数 II の内容） ■ 微分法と積分法（数 II の内容） ■ 数学と人間の活動（数 A の内容） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 数列（数 B の内容） ■ 平面ベクトル（数 C の内容） ■ 空間ベクトル（数 C の内容）

理 科

身近な自然現象に興味を持ち、知識・観察力を活用して、ものごとを科学的に思考できる人間の育成を目指しています。そのため中学から実験・実習を数多く取り入れ、「実体験」から得る情報をもとに思考を発展させ、「得られた結果から科学的に優れた考察を展開できる能力」が身につくよう指導しています。また、実験後のレポート作成を通して、主体的に考察する力を身につけていきます。さらに、進歩の著しい自然科学の分野で重要かつ基礎的な知識を、より効率的に深く学習するため、中学・高校の内容を整理・統合し、中学では必要に応じて高校の内容を取り入れ、中2・中3では高校教科書「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」の内容を扱います。高1までに理科の基本を一通り学習した後、高2以降は各自の進路目標の達成に向けてより発展的な学習につなげていきます。実験の内容もより専門的になり、大学入試問題を解く力に加え自然科学を探究する姿勢を養っていきます。

使用教科書	中1～中3	『未来へひろがるサイエンス 1～3』（啓林館）
	中3・高1	『物理基礎』（数研出版）『化学基礎』（啓林館）『生物基礎』（東京書籍）
使用副教材	中1～中2	『中学の理科 第1分野 物理・化学』（教育開発出版社）
		『中学の理科 第2分野 生物・地学』（教育開発出版社）
		『グラフィック理科資料集』（新学社）
	中3・高1	『ニューステージ新生物図表』（浜島書店）
		『リードα生物基礎』（数研出版）
		『物理基礎独自作成テキスト』 『標準セミナー化学基礎』（第一学習社）

中学1年生理科実験項目リスト ※コロナ禍のため実施できない実験もあります。

中学1年では、年間で次のような実験を行っています。1学期は2時間連続の授業中に行っていますので、1回の実験で教科書の2回分の内容を含むものもあります。また、必要に応じて演示実験を行っています。（カリキュラムは変更の可能性がありますが）

1 分野	1 学期	①密度の測定・測定器具の使い方 ③ナフタレンの温度変化 ⑤いろいろな物質の性質を調べる	②二酸化炭素・酸素の性質 ④水溶液の種類決定・再結晶
	2 学期	⑥スチールウールの燃焼 ⑧鉄と硫黄の化合 ⑩水の電気分解 ⑫定比例の法則	⑦物質の燃焼 ⑨炭酸水素ナトリウムの熱分解 ⑪質量保存の法則 ⑬分子模型を作って化学反応式を理解しよう
	3 学期	⑭水圧	
2 分野	1 学期	①双眼実体顕微鏡の使用法 ③果実の観察（イチゴ、エンドウ）	②花のつくりの観察（ナデシコ） ④光学顕微鏡の使用法
	2 学期	⑤震央の位置と震源の深さの作図 ⑦火山灰・火成岩の観察	⑥等高線と山の形 ⑧火成岩薄片標本の顕微鏡観察
	3 学期	⑨光の反射と屈折 ⑪イカの解剖	⑩凸レンズによる像のでき方 ⑫オシロスコープによる音の波形の観察

■ 中学1年から高校1年までの授業内容

理 科

		1分野	2時間	2分野	2時間
中学1年		<p>化学分野・物理分野の基本的な内容を学習する。ガスバーナーや各種実験器具の使い方など実験の基本操作を習得すると共に、実験レポート・グラフ・表の書き方などの基礎力を養成する。</p>		<p>生物分野・地学分野・物理分野の基本的な内容を学習する。顕微鏡の取り扱い方や観察スケッチを通じて、実験操作と実験レポート作成の基礎力を養成する。</p>	
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 物質の調べ方・分類 ■ 物質の状態変化 ■ 化学変化 ■ 原子・分子 ■ 力のつりあい 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 気体の性質 ■ 水溶液の性質 ■ 化学の諸法則 ■ いろいろな力 ■ 水 圧 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 植物の特徴と分類 ■ 火山 ■ 地層と岩石 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 動物の特徴と分類 ■ 地震 ■ 音と光
中学2年		<p>化学分野・物理分野ともに、基本的な内容を学習しつつ、高校「化学基礎」「物理基礎」の内容を取り入れながら発展的に学習する。実験では、結果を基にした考察を展開する能力を育成する。</p>		<p>生物分野・地学分野を学習する。天気図の作成、天体のモデル実験や動物の形態観察のレポートを通じて、実験操作の能力を高めるとともに深い思考力を養成する。</p>	
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 物質の分類・分離 ■ 化学結合 ■ 酸とアルカリ ■ 電流と磁界 ■ 等加速度直線運動 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 原子・分子・イオン ■ 化学式と化学反応式 ■ 電流の性質 ■ 等速直線運動 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 天気とその変化 ■ 天気図 ■ 太陽系と宇宙 ■ 植物のからだのつくりとはたらき ■ 動物の行動のしくみ ■ 動物のからだのつくりとはたらき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水蒸気の変化と雲 ■ 地球・月
中学3年		<p>化学分野では中2で学習した基本事項を復習しつつ、高校「化学基礎」の内容を本格的に学習する。物理分野では高校「物理基礎」の内容を取り入れながら力学分野について基本的な考え方を身につけ、それを応用する能力を育成する。</p>		<p>高校「生物基礎」の内容を学習する。生物の基本単位である細胞の構造や遺伝子、遺伝のしくみ、生物の体内環境の維持について学ぶとともに、詳細なレポートを作成し、実験結果を基にした考察を展開する能力を高める。</p>	
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 物質の分類・元素 ■ 物質の構成 ■ 力のつりあい(1次元・2次元) ■ 運動の法則 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 物質の三態 ■ 物質と化学結合 ■ 力の合成と分解 ■ 運動方程式 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生物の多様性と細胞 ■ 生命活動とエネルギー ■ 遺伝子とその働き ■ 遺伝の規則性 	
高校1年		<p>物理基礎</p> <p>2時間</p>	<p>化学基礎</p> <p>2時間</p>	<p>生物基礎</p> <p>2時間</p>	
		<p>エネルギーの概念を身につけ、計算を行えるようにする。また、波動や熱について現象の本質を理解し、計算を行えるようにする。</p>	<p>物質量 (mol) の考え方を導入し、化学変化の量的関係について理解を深める。また、酸・塩基の定義、pH や中和反応の量的関係、酸化還元反応について学習する。</p>	<p>生物の体内環境の維持について、観察などを通して探求すると共に、そのしくみについて理解する。また、生物の多様性と生態系について理解し、その保全の重要性を学ぶ。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 運動の法則・運動方程式 ■ 仕事とエネルギー ■ 力学的エネルギーの保存 ■ 波動・音波 ■ 熱とエネルギー 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 物質量と化学変化の量的関係 ■ 酸と塩基 ■ 酸化還元反応 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生物の体内環境の維持 ■ 生物の多様性と生態系 		

英 語

語彙や文法の確かな知識を身につけることを重視するとともに、英語学習を通じてコミュニケーション能力を育みます。中学では日常的な事柄について英語で理解・表現できる力の基礎を築き、高校ではその基礎力を発展させて大学入試に十分対応できる高度な学力を身につけると同時に、大学入学以降や社会人になっても役に立つ国際コミュニケーション言語としての英語力を養うことを目標に学習します。授業への積極的な参加はもちろんのこと、予習や復習などの自宅学習の取り組みを大切にしています。

中学での英語の授業は「英語」「英会話」の2つの科目で構成されており、「英語」は各学年週5時間、「英会話」は中1・中2が週1時間、中3が週2時間です。

「英語」では中高一貫校用のハイレベルテキスト『NEW TREASURE』を用いて語彙・文法を学びながら、「聴く・話す・読む・書く」の4技能を総合的に伸ばします。中学の学習内容を中3の2学期に終え、その後は高校1年生用の検定教科書『ELEMENT』と『be English Logic and Expression I Smart』を使って高校の内容に進みます。

「英会話」は1クラスを2分割した少人数授業で行い、ネイティブ教員が担当します。テキストで学んだ知識を活用しながら、「聴く・話す」に重点を置いて学びます。英語で表現する力を鍛えるために、自分で考えた内容を「書く」活動も取り入れています。

授業での学習の他、中学ではNHKラジオ『基礎英語』を必須とし、毎日英語を聴くことを習慣にします。英語の音声に日々触れることによって、リスニング力や会話力を向上させることができます。多読も奨励しており、1年間に読んだ英語の本のページ数に応じて表彰をする「リーディング・マラソン」という活動を行っています。また、中学各学年で指名制の補習を週1回実施しており、基礎学力の定着をサポートします。

高校では、中学で学んできた文法をさらに体系的・発展的に学び、英語を理解する力、英語で表現する力を伸ばします。英語の知識を発展させるとともに、中学での様々な教科の学習を通じて得た幅広い分野の知識や興味を活かして人文科学・社会科学・自然科学などのより専門的な文章を読み、読解力を養います。高1からは多読・速読に焦点を当てた長文読解、高2からは抽象性・専門性の高い内容の長文読解や大学入学共通テスト演習などを行います。高3では到達度に応じた習熟度別授業を導入し、難関大の入試問題演習などを通して英語力を磨いていきます。高校でも少人数でネイティブ教員が担当する授業を設け、調べた内容や自分の考えを英語で書いたり発表したりする活動を行います。

なお、中学入学後に基礎から学習しますので、入学前に特別な準備は必要ありませんが、小学校での外国語活動や英語の授業で学んだ表現やアルファベットに慣れ親しんでおきましょう。

使用教科書

中1～中3

『NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage 1・2』（Z会出版）
 『ELEMENT English Communication I』（啓林館）
 『be English Logic and Expression I Smart』（いっずな書店）

使用副教材

中1

『NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage 1 文法問題集』（Z会出版）ほか

中2

『NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage 2 文法問題集』（Z会出版）ほか

中3

『総合英語 be 3rd Edition English Grammar 46』（いっずな書店）ほか



■ 中学 1 年から高校 1 年までの授業内容

英 語

	英 語 5 時間	英会話 1 時間
中学 1 年	NEW TREASURE 1 を教科書として使用 ■ アルファベット ■ be 動詞・一般動詞の用法（現在形・過去形） ■ 命令文 ■ 疑問詞 ■ 現在進行形 ■ 過去進行形 ■ 未来表現 ■ 助動詞	NEW TREASURE 1 で学んだ文法事項を応用した英会話活動を行いながら、様々な表現を学ぶ。
	NEW TREASURE 1・2 を教科書として使用 ■ There is 構文 ■ 接続詞 ■ 比較 ■ 不定詞 ■ 動名詞 ■ 現在完了形 ■ 受動態	NEW TREASURE 1・2 で学んだ文法事項を応用した英会話活動を行いながら、様々な表現を学ぶ。
中学 2 年	NEW TREASURE 2、ELEMENT I、be English Logic and Expression I Smart を教科書として使用 ■ 分詞 ■ 関係代名詞 ■ 不定詞の発展用法 ■ 現在完了進行形 ■ 過去完了形 ■ 知覚動詞・使役動詞 ■ 仮定法過去	NEW TREASURE 2、ELEMENT I で学んだ様々な表現を用いて、自分自身のことや、教科書で扱った内容に関する考えなどを表現する力を養う。
	英語コミュニケーション I 3 時間	論理・表現 I 2 時間
高校 1 年	ELEMENT I、ELEMENT II を教科書として使用 ■ 高校 1 年 英語コミュニケーション I ・ 様々な文法・語法・表現を学びながら読解力を養う。 ・ スピーチの作成・発表やエッセイライティングなどを通じて、書く力と話す力を養う。	be English Logic and Expression I Smart を教科書として使用 文法を体系的に学び、表現活動を通じて知識を定着させ表現力を養う。

保健体育

保健は中1で「心身の発達と心、性の多様性」について、中3では「ケガや病気の予防と精神の健康」について学習します。高1になると本校の保健授業の根幹となる「性とは生である」の理念に基づき、生物学的・科学的・社会的視点から広く知識を習得します。2学期後半からは各自で設定したテーマについての学習を深め、研究発表やディベートなど、生徒参加型の授業となります。体育は、楽しみながら基礎体力を付け、他者と協力していく力を養います。バスケットボール、バレーボール、ネットボール、マット運動、バドミントン、ラグビー、フットサル、テニス、卓球、水泳、ダンス、剣道など幅広いスポーツに親しむことができます。

音楽

中1・2の音楽は、譜面の正しい読み方や書き方及び発声の基本から学びます。器楽はヴァイオリンを取り入れ、丁寧に指導していきます。また鑑賞は、名曲を中心に、音楽史に沿って学習していきます。中3は声楽のみの授業となります。声楽では日本歌曲から入り、イタリア歌曲を原語で歌います。高1は声楽の他、器楽ではヴァイオリンを中心に、ヴィオラやチェロも取り入れ、弦楽合奏に挑戦します。高2からの選択授業でオペラとミュージカルについて、専門的に学ぶことができます。

美術

中学では絵画・版画・デザイン・工芸（木彫や陶芸）と幅の広い学習をしますが、カリキュラムはほとんど吉祥オリジナルであることに特色があります。また、課外授業（課外中学美術）を受講することで、様々な表現方法について、さらに深く学ぶこともできます。高校では銅版画や石膏デッサンなど専門性に一層踏み込んだ学習をすることで関心や適性を確かめ、類系選択に繋がる内容となっています。高2からの芸術系では、造形力や創造性を培いながら段階的にレベルアップができるよう、絵画とデザインの授業を組み合わせ、発想を表現に結びつけるプロセスを体験的に学んでいくこととなります。

技術・家庭／家庭基礎

中学では、衣食住に関して実習を中心に授業内容を定着させ、日常生活で実践できる力を養います。また、消費生活に関するさまざまなトラブルや、環境問題なども身近な問題として考え、木材加工など技術分野についても学習します。高校では、中学で学習した内容を発展させ、調理実習した献立の栄養計算をしたり、材料もフェアトレードの商品から購入して社会とのつながりを考えたりします。また、金隔商品や経済のしくみについても学びます。これらの学習を通して、実生活に即して考え、理解が深まるような授業展開になっています。

情報

2022年度より新しく始まった科目「情報Ⅰ」を高校1年次に履修します。情報に関する科学的な見方や考え方を踏まえつつ、社会にある様々な問題を発見し解決するために、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識と技能を身につけていきます。具体的には、情報モラル、情報社会、コミュニケーション、情報デザイン、プログラミング、ネットワーク、データの活用といった内容です。講義のほか実習を重視し、実際に活用する力と情報社会に主体的に対応する力を養います。高校3年次は、大学入学共通テストの受験を想定して、選択科目「情報Ⅰ演習」を履修することができます。

II

2023年度入試問題 問題構成・出題の意図

II 01 国 語

出題方針および問題構成

国語力には、読解力や思考力、表現力など様々な要素があると思います。具体的には、筆者の考えや登場人物の心情を正しく理解し、身の回りのことや社会に置き換えて考え、自分なりの意見や感想を持ち、それを相手にしっかり伝わるよう上手に表現する力と言えるでしょう。本校の入試問題は、そうした力をバランスよく見ることを意図しており、問題形式も様々です。言葉や表現の意味及び表現技法、接続詞や指示語、登場人物の心情や内容の理解、また、ちがいや理由の説明、漢字の読み書き等、色々な形式の問題をとり交ぜて出題しています。それらを通じて、文章を論理的に読解する力や登場人物の心情を正しく読み取る力、想像し思考する力、自分の言葉で正確に表現する力、また言葉の知識や漢字の読み書きなど、国語で必要とされる様々な力を幅広く見ています。

本校が例年、国語で出題する文章は、説明的文章が1編と、文学的文章が1編です。また、ここ数年は漢字を独立問題として出題することが多く、合計3題となっています。入試本文については、今の子ども達にぜひ読んでもらいたい、考えてもらいたいと思う読み応えのある文章を選ぶよう心がけています。過去の入試問題などに取り組んだとき、もし興味を持った文章があれば、ぜひその文章の出典となった本を手にとりて豊かな読書経験につなげてほしいと願っています。

記述問題については、20～50字程度の短いものが数題と、70～100字程度の長い記述が1題という形を、例年取っています。長い記述問題は、本文の内容を要約するものもあれば、受験生自身の体験を想像も含めて、本文の内容と関わらせて書くものもあります。昨今の大学入試改革の流れを受け、思考力や表現力が今後一層重視されるであろうという観点から、本文を踏まえて現代社会のありようや自分自身のあり方にまで考えを広げる、思考力を問うような記述問題も、ここ数年よく出題しています。

なお、入試本文については**2023年度入試第一回**のように、随筆を出題することもあります。随筆は説明的文章、文学的文章両方の要素があるため、その文章の特徴に応じて出題しています。

文学的文章の出題意図

文学的文章における読解の中心は登場人物の心情の変化にあります。登場人物の内面は、その表情や態度はもちろん、周りの情景描写にも反映されることが少なくありません。また、たとえを用いて心情を語ることもあります。登場人物がその言動に至った理由も読み取りましょう。つまり登場人物の言動や情景描写、それを表す比喩表現など、文中の様々な手がかりをもとに、主人公の心情がなぜ・どのように変化したのか読み解くことが大切です。文学的文章を読むときは、ただストーリーをたどるだけでなく、登場人物の表情や仕草、態度、周囲の情景描写など一つひとつの表現にじっくりと向き合いながら読んでほしいと思います。

登場人物の言動から心情を読み取る例としては、**2023年度入試第一回**の間三、間八、間九、比喩表現を用いて心情を表す例としては、**2022年度入試第一回**の間六、間十二や**2023年度**

入試第二回問十、また登場人物の言動の理由を読み取る例としては**2023年度入試第一回**問十三、問四、問七、問十一、問十二、問十三などが挙げられます。

説明的文章の出題意図

説明的文章における読解の中心は、文章全体の組み立てに気をつけながら読み、筆者の言いたいことをつかむということです。説明的文章というと難しい印象があるかもしれませんが、筆者の言いたいことは基本的に1つです。その1つのことについて手を変え品を変えて説明していますので、筆者の主張の流れを考えながら読んでいきましょう。説明的文章を読み解く際には、具体と抽象、対比関係、くり返し表現、原因と結果などいくつか意識すべきポイントがあります。それらのポイントに気をつけながら、文章の組み立てを考えていくとよいでしょう。また、文章の要点を把握するためには、語彙力つまり言葉の知識が不可欠であるため、そうした知識があるかどうかを問うようにしています。

具体と抽象を意識して解く問題の例としては、**2021年度入試第一回**問三、**第二回**問八や**2023年度入試第一回**問七など、また、対比的な述べ方の理解を問う例としては、**2022年度入試第一回**問三や**2023年度入試第一回**問八、**第二回**問一、問四など、くり返し表現をヒントに解答する例としては、**2021年度入試第一回**問五、問八など、原因と結果の関係をヒントに解答する例としては、**2021年度入試第一回**問九や**第二回入試**問四、問五、**2023年度入試第一回**問二などが挙げられます。

漢字の出題の意図

小学校での学習の範囲から出題しますが、日常会話の中で用いるような言葉だけでなく、様々な文章を読みこなし、考察するための語彙力を持っているかどうか、つまり言葉の知識を問うものであることも、本校の漢字問題の意図するところです。漢字や語句問題なども結局は語彙、つまり言葉の知識と結びついています。目や耳から入ってくる情報で、意味のはっきりしない言葉に出会ったら、あいまいなままにせず、こまめに辞書を引いて調べる習慣をぜひ付けましょう。人は言葉を知ることで、より深く正確に自分の心情を理解し、また相手に伝えることができるようになります。言葉を知ることが、自分や社会を知ることにつながるのです。そうした意味で、普段から言葉を意識して生活してほしいと思います。

例えば**2021年度入試第一回**の「永世」「存亡」、**第二回**の「照準」、**2023年度入試第一回**の「講評」、**第二回**の「忠誠」などは、小学生の日常会話中にはなかなか出てこないでしょうが、上記の意図の下に出題しています。新聞や幅広いジャンルの本を読むという習慣を、ぜひ大切にして下さい。文章の中で自然に身についた語彙力こそが、国語力の基盤となります。

Ⅱ 02 算 数

問題構成

本校の算数では、様々な分野に渡った早く正確な処理能力、柔軟性のある深い思考力をみる出題を心掛けています。それらの力を確認するために、第1回、第2回ともに次のような大問を5題出題します。①は計算問題と1行問題、②と③は1行問題より少し難易度の高い問題、④と⑤は応用問題です。配点は計100点満点のうち、①は約30点、②と③はそれぞれ約10点、④と⑤はそれぞれ約20点です。これに加え、②と③のいずれかの中で1問、④と⑤のいずれかの中で1問、計2問の記述式の問題が入ります。記述式問題が入る大問については、配点が約5点加わります。

①では、計算問題と1行問題を合わせて約7題出題します。早く正確な計算力と基本的な文章題の処理能力が必要な問題を並べています。これらは受験生の基礎的な学力を確認するための問題です。1行問題は代表的な分野を中心に出题しますが、後半は少し難易度が高くなっていきます。各分野の基本問題をまんべんなく理解し、練習して確実に得点できるようにしましょう。

②、③は1行問題より少し難易度が高めの文章題を出題します。(1)や(2)などの前半の設問は、(3)などの後半の設問を解くための誘導やヒントとなっていて、それらを元に法則や性質に気付けば、完答できる問題です。

④、⑤は応用問題です。自分で考え、自分で解決する力を持っているかどうかを確認する目的で出題しています。②、③と同様に設問の前半に細かい誘導やヒントを入れながら出題していきます。前半の一つ一つの設問の意図をしっかりと理解し、後半の設問に利用することができるかどうか大きな鍵となっています。

2023年度入試の各回の②以降の問題の出題分野を以下にあげておきます。

- 第1回 ② 条件を満たすものの個数（四捨五入）
 ③ 平面図形（正六角形内の図形）
 ④ 速さ（流水算・旅人算）
 ⑤ 条件整理（魔方陣）

- 第2回 ② 平面図形（三角形と平行線）
 ③ 速さと比（旅人算）
 ④ 平面図形（円が通過した領域）
 ⑤ 約束記号と規則性（「1」の出現回数）

以上のように、各設問は分野を限定することなく、幅広い分野から出題します。特定の分野に絞って集中的に取り組むのではなく、まずはどの分野もまんべんなく基本的な知識をしっかりと理解しておくことが大切です。

2、3の出題意図

この大問では、一行問題よりやや難易度が高い問題を出題し、設問を付けて出題することで、本質をきちんと理解しているかを問う問題を出題しています。また、幅広い分野から出題することで、バランスの良い学力を有しているかを確認しています。

定番の問題を中心に構成されることが多いですが、後半の設問は設定が複雑な内容であったり、さらに一步進んだ内容に踏み込んでいる内容になっており、解法を覚えているだけでは解くのが難しい問題を出題しています。普段から、解法を覚える学習をするのではなく、その解法の根拠を理解する学習を行うことが最大の対策になります。

4、5の出題意図

この大問では、題材が難しいまたは真新しいテーマを扱い、その場で柔軟に考える力や論理的思考力をみる問題を出題しています。これは、普段から暗記ではなく理解を伴った学習ができている人を求めているからです。

前半の設問は問題内容を読み取ることができたかどうかを確認する基本的な問題です。またこれらは、その次の設問を考えるためのヒントや誘導です。後半の設問がなかなか解けない人は、前半の設問の誘導をもう一度読み解いてみましょう。そうすれば正解に近づくことが出来るはずです。

また、後半の設問を解く時間を確保するためにも、基本的な設問は速く正確に解くことも重要な力であるといえます。

記述式問題の出題意図

答えを問うだけでなく途中の考え方や式をみることで、内容をきちんと理解をしているか、きちんと考えて解答できているのかを問うために出題しています。

図や表を用いても構いませんし、「→」などの記号を用いても結構です。答えが合っていないなくても、途中までの考え方が合っているなど加点できる要素があれば部分点をつけていきます。少しでも構わないので、途中の式や考え方などを書くように心がけましょう。その際、問題設定にある数字を使って式を書きはじめると、書いた途中の式が何を表している式なのかを明記することを意識しておくといいでしょう。

問題の「答え」は1通りしかありませんが、「考え方」は1通りではありません。普段の練習でも、ただ問題を解いて、答えを見て丸つけして終わりではなく、「別解」など書いてある場合はその解法をしっかりと理解するようにしていくと、色々な解き方や考え方が身についていきます。そうすると、自然に説明が書けるようにもなり、応用力もついていきます。算数は決して「結果」だけが重要なものではありません。「過程」を大事にするように心がけることが成功への第一歩です。

Ⅱ 03 社会

問題構成

本校の社会の入試問題は、基本的知識の確認だけでなく、社会的事象に対する関心の有無、それぞれの事象の相互関連性やその背景について理解する力、基本的知識を使って資料を読み解く力を問うことに重点を置いて出題しています。

各回とも、歴史分野、地理分野、公民分野からそれぞれ1題ずつ、計3題の大問で構成されています。なお、歴史分野・地理分野の大問に比べ、公民分野の大問の配点を少なめに設定しています。以下は、2023年度入試の各回の出題テーマです。

第1回

- ① 鉄をテーマにした歴史分野の問題
- ② 地理の用語をテーマにした地理分野の問題
- ③ 文通費（文書通信交通滞在費）をテーマにした公民分野の問題

第2回

- ① 医学をテーマにした歴史分野の問題
- ② 鉄道をテーマにした地理分野の問題
- ③ 憲法をテーマにした公民分野の問題

以上のように、各大問はあるテーマに沿って作られています。しかし実際の各設問はそのテーマに限定せず、幅広い分野から出題しています。従って、どこかの分野や範囲に集中的に力を入れて学習するのではなく、まずは基本的知識をしっかりと確認し、全体をまんべんなく学ぶ堅実な勉強を心がけてほしいと思います。設問の数は、例年、各回でそれぞれ38問～40問程度です。問題数が多いので時間配分にも注意して解答することも求められます。

設問の形式は、基本的な用語の知識を確認する記述式問題、あるできごとについての正確な理解や詳細な知識を問う正誤判定問題、社会的用語をはじめ地図やグラフの読み取りに関する問題、歴史的なできごとを起こった順番に並べかえる問題など、多様です。中には問題文中の空欄の穴埋め問題や、下線部に関する設問以外の問いを出す場合もあります。設問の中心は基本的な知識を問うものや、その知識を前提に考えれば解ける問題です。社会科の学習は、用語を覚えればよいというものではありません。しかし、思考する前提として正確な知識は不可欠です。

また、本校では図表の読み取りや歴史上の事象・現代社会の問題の背景にある因果関係などについて、1～2行程度（字数指定の場合もあります）の記述問題を出題しています。こうした問題を出題するのは、普段からその用語の意味や、あるできごとが起きた背景・理由を考えながら学ぶ姿勢を持ってほしいからです。社会の入試問題では、用語を答える単純な記述式問題において、原則として漢字指定や文字数指定、場合によってカタカナ指定などによる解答を求めています。そのため、参考書や教科書に漢字で書かれている用語については、正確な漢字で書けるようにしておく必要があります。解答にあたっては、設問ごとに「何を問われているのか」を正確に把握し、その設問の指示に従って解答するように心がけてください。なお、リード文もよく読み、解答の参考にしてほしいと思っています。**2023年度入試第2回の③問10**では、リード文の読解力を問う問題を出題しています。

歴史分野の出題の意図

本校では、中1・中2の2年間をかけて、日本を中心とする歴史を学びます。その前提として、日本の歴史についての基本的かつ正確な理解を求めています。

例えば、**2023年度入試第1回**の①問1や問6などは、時代ごとの特徴を正確に理解できているか確認する問題です。用語の内容や時期などを正確に理解することはもちろん、その背景や影響なども丁寧に把握しておくことが大切です。**2023年度入試第2回**の①問4は、豊臣秀吉と徳川家康の功績について、地図と関連させて学習できているか確認する問題です。人物については、その功績や関連するできごとを、背景も含めてまとめることでより深く理解できるはずですが、その際、地名が出てきたら、地図帳で確認しながら学習をすすめましょう。

また、歴史の正確な知識を身につけようとする、その時代に関する知識ばかりに集中してしまいがちです。しかし、歴史の学習に必要なことは、各時代の個々のできごとを歴史の中にきちんと位置づけて理解することです。このような学習が日常からできているかを試すために、各回ともおおまかな歴史の流れを問う並べかえ形式の問題を必ず出題するようにしています。並べかえというと、「そのできごとの起こった年を丸暗記して順番にする」ととらえられがちですが、歴史上の人物やできごとを、その時期の時代背景の中で大きくとらえて位置づけることが大切です。**2023年度入試第2回**の①問1は、大陸から日本へ伝来した技術や知識について述べた文を並べかえる問題です。「B銅鐸の使用」→「A日本への仏教伝来」→「C大宝律令」と並べ替える問題ですが、これらの年号を覚える必要はありません。たとえば、蘇我氏などの豪族も仏教を信仰し、飛鳥文化の一例として法隆寺などがあります。そして、大化の改新以後目指されていた律令国家のしくみは、大宝律令の制定によってひとまず完成します。ここからA→Cの流れが判断できます。並べかえ形式の問題に対応するためには、あるできごとがどの時代の特徴を表しているのか、前後の歴史の流れとどのような関連があるのか、という点を意識して学習することが重要です。

地理分野の出題意図

地理は、今私たちが生きている世界や日本のあり方を、地図や統計、写真といった資料を駆使して理解し、視野を広げていく科目です。「地理」＝「暗記科目」というイメージが強いかもしれませんが、確かに、地名など覚えなければならないことも多くあります。しかし、それは地理学習のゴールではなく、あくまでスタートであることを忘れてはなりません。「地理」とは、読んで字のごとく「大地の理（筋道や理由）」を学ぶ科目です。地理学習の楽しさは、自然（地形や気候など）と人間活動（農業や工業など）の関係や、地域の共通点や相違点を理解することにあります。本校での地理学習においても、このようなつながりを意識して学ぶことを大切にしています。

地理分野の出題においては、日本各地の自然や産業を中心に、グラフや統計の読み取り問題を出題しています。例えば、**2023年度入試第1回**の②問1や問11は、日本の都道府県の自然環境や工業の特徴を理解しているかを問う基本的な問題です。まずは各地域の基礎的な特徴を学習し、その共通点や相違点を意識することが大切です。**2023年度入試第1回**の②問5や**第2回**の②問5のように、地図を使った出題もしていますので、地理を学習するときには、地図帳を手元において、場所を確認しながら取り組むようにしましょう。そして、**2023年度入試第1回**の②問7（食料自給率の推移）や**第2回**の②問13（3都市の東京からの距離と所要時間の比較）のようなデータを読み取る問題では、グラフや表が表していることの意味を理解し、知識と結び付けることが大切です。

す。このようなデータは、私たちの社会の一側面を表現したものです。日常生活の中で自分が体験したり、ニュースで聞いたりしたことを思い浮かべることで正解にたどり着くこともできるでしょう。グラフや統計の読み取りでは、その資料がどのような社会の側面を表しているのか、という点を意識して学習することが重要です。

公民分野の出題意図

本校の公民の学習において目指していることは、「自らが社会を作る主体であるという自覚を持つこと」です。本校では、社会の中で日々生活する中で、社会に存在している価値観や規範に無批判に従うような存在としてではなく、今ある価値観や規範の意義を批判的に考察し、よりよい社会の実現のために自らの学びを活かすことのできる存在になって欲しいと考えています。そのため受験生には、まず現代社会のあり方について基本的なことがらを理解することを求めています。出題する多くの問題は、日本国憲法や基本的人権の内容、国政や地方自治の仕組み、財政や経済の仕組み、国際社会の理解など、さまざまな分野における基本的なことがらを問うものになっています。そして基本的な知識の習得はもちろんですが、単なる暗記ではなく、さまざまな課題に対して自分の持っている知識を活用することが求められています。そのためには、問われているものが何であるのかをしっかりと理解し、それに対する適切な答えを導き出していく力が必要です。

また、現代社会で起こる変化についても目を向ける習慣をつけてほしいと思います。これは社会の制度やその背後にある価値観の変化についての理解を深めることで、社会について主体的に考える力を養うことができるからです。公民分野では時事的な知識を問う問題を必ず出題しています。新聞やテレビなどを通してニュースに触れ、社会に対して関心や問題意識を持ってほしいからです。例えば **2023 年度入試第 1 回の 3 問 6** は文通費（文書通信交通滞在費）、**第 2 回の 3 問 4** はロシアのウクライナ侵攻、といったニュースで話題となったことを意識した出題です。ニュースの内容と普段学習していることがらを結びつけると、より理解が深まります。ニュースなどで話題になることがらについては、それを単に情報として受け取るだけでなく、当事者意識を持つことで理解が深まり確かな知識となるでしょう。

Ⅱ 04 理 科

問題構成

理科は、身近なものや自然現象に着目し、実験や観察で得られた結果にもとづいて、そのしくみや法則性を明らかにしていく科目です。そこで、本校の理科では、実験実習を通して自然現象への興味・関心を高め、科学的な思考力や表現力を養うことを目標としています。そのため、本校の理科の入試問題では、理科を学んでいく上で必要な次の①～③を確認することを意図しています。

- ① 自然現象への関心と、実験や観察への積極性
- ② 実験や観察の結果を表やグラフにまとめて整理する力と、それを分析する力
- ③ 自然現象を科学的に考える上で必要な知識や、分析する上で必要な計算力

これらを踏まえて、できるだけ身近なものや現象をテーマにして、物理・化学・生物・地学の各分野から大問1題ずつ、計4題を出題しています。例として2023年度入試の各回のテーマと分野を挙げておきます。☆を付した大問は、実験を題材にした問題を含みます。

- 第1回
- ① (生物☆) 虫について
 - ② (地学) 地層について
 - ③ (物理) 回路について
 - ④ (化学☆) 中和について

- 第2回
- ① (地学) 天体について
 - ② (化学☆) 塩について
 - ③ (生物☆) 微生物と消化について
 - ④ (物理) 光の屈折について

上記のように、実験を題材にして思考力を問う問題を、大問2題ほど出題しています。また、基本的な知識や計算力を確認する問題に加えて、与えられた情報や条件にもとづいて考える問題も出題しています。なお、思考力を問う問題では、グラフを用いた問題も出題しています。問題を解いて知識や計算力を身につけるだけでなく、身近なものや自然現象に目を向けて、不思議に思ったことについて調べたり考えたりしてほしいと思います。

物理分野の出題の意図

物理は、さまざまな力や電磁気、光、音といった現象に着目して、法則性を見出していく分野です。現象について分析する際に計算を用いる分野なので、多くの場合、基本的な計算力を問う問題を出題しています。

見出した法則性を用いると、ある条件が変化して未知の状況になったときにどのような結果になるか推測することができます。このような考え方をする問題の例として、**2023年度入試第2回④**の**(5)**が挙げられます。逆に、ある現象が起こるための条件を考えることもできます。このような考え方をする問題の例として、**2022年度入試第1回④**の**(8)**が挙げられます。

化学分野の出題の意図

化学は、物質がもつ性質を調べ、それにもとづいて自然現象のしくみを解き明かしていく分野です。その方法は実験なので、実験を題材にした問題を多く出題しています。したがって、物質の性質についての基本的な知識はもちろん、実験操作についても理解しておくことが重要です。実験操作に関連した問題の例として、**2022年度入試第1回②**の(5)が挙げられます。

また、化学の知識は私たちの生活のさまざまな場面に用いられています。そのため、身近な現象や物質を題材にするようにしています。例えば、**2021年度入試第1回④**では燃料電池、**第2回①**では着色されたスティックのり、**2023年度入試第1回④**では食品に含まれるタンパク質の量を調べる方法を題材にしました。身のまわりの便利なものについて、ただ利用するだけでなく、どのようなしくみになっているのか調べたり考えたりしてほしいと思います。

生物分野の出題の意図

私たち人間はヒトという生物であり、他のさまざまな生物と関わりながら生きています。生物は、ヒトや他の生物が生きているしくみ、生物どうしの関わりについて調べていく分野です。基本的な知識に観察や実験の結果を合わせて考えていく分野なので、観察や実験を題材にした問題も多く出題しています。

テーマとする生物の種類はさまざまですが、受験生になじみのある生物をテーマにするようにしています。したがって、ヒトをはじめ身近な生物についての基本的な知識を定着させることはもちろん、観察の方法や実験操作についても理解しておくことが重要です。実験操作に関連した問題の例として、**2021年度入試第1回③**の(4)が挙げられます。

また、生物分野は地球環境の持続可能性について考える際に重要な分野です。観察や実験で得られた結果にもとづいて、環境との関わりを考える問題の例として、**2022年度第1回③**が挙げられます。

地学分野の出題の意図

地学は、地質・気象・天文について、基本的な知識に観察や実験の結果を合わせて考えていく分野です。基本的な知識を定着させることはもちろん、観察の方法や実験操作についても理解しておくことが重要です。実験操作に関連した問題の例として、**2021年度入試第1回①**の(1)が挙げられます。

また、地学分野で着目する現象は、私たちの日常生活に深く関わっています。日々のニュースでは気象情報が報じられ、流星群などの天文現象や宇宙開発について取り上げられることも多いです。ニュースで取り上げられたことに関する問題の例として、**2023年度入試第2回①**の(5),(6)が挙げられます。

Q&A

吉祥の特色と生徒の様子について



Q 01 吉祥での6年間を一言で言うとどのようなものですか？

A 人生の土台となる10代の大切な時期を、互いに認め合う個性豊かな仲間達と切磋琢磨しながらも、伸びやかに過ごすことができます。誰にでも居場所があり、大きく成長できる6年間であると言えます。

Q 02 活発な生徒が多いと聞いています。どちらかというとおとなしい性格ですが大丈夫でしょうか？

A いろいろなタイプの生徒が入学しています。本校では自分の個性を発見して、それを磨き学校生活を充実させ、社会に貢献する自立した女性としてよりよい人生を送るための基礎作りをしています。クラスはもちろん、学校行事、委員会・部活動、課外授業などでさまざまな「居場所」を見つけることができ、どんなタイプの生徒ものびのびと学校生活を送っています。

Q 03 いじめはありますか？

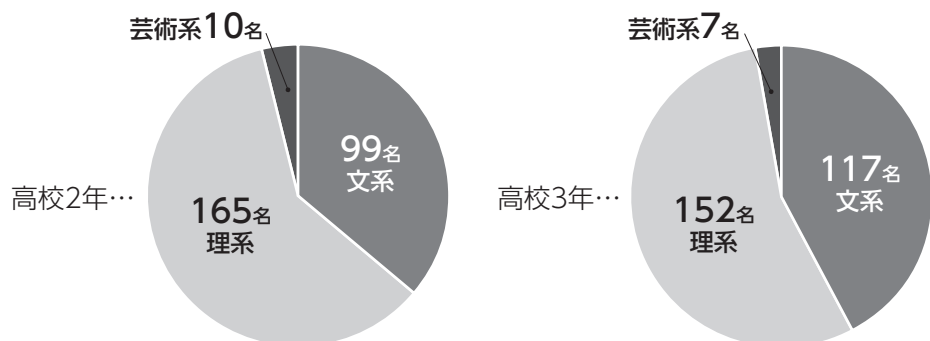
A 集団生活の場ですから人間関係のトラブルはあります。多少の摩擦は恐れずに乗り越えて、人間関係を作ることによって、お互いを受け入れることができ、上辺だけではない友情も深まります。生徒同士では解決できない場合には、学級担任をはじめ学年主任、生徒指導担当の教員、カウンセラーなどが一丸となり、ご家庭とも連絡を取り合って指導に当たります。

学校生活全般について



Q 04 高2からの文系・理系・芸術系の人数の割合はどれくらいですか？

A 今年度（2023年度）は以下ようになります。



Q 05 塾や予備校には行っていますか？

A 中学では多くの生徒は行っていません。高校では、高2の秋以降、委員会や部を引退してから塾や予備校に通いはじめ、1～2科目の受講をする生徒も一定の割合います。

Q 06 部活動の参加率はどれくらいですか？

A 希望制ですが、ほとんどの生徒が参加しています。中学全体では約65%の生徒が運動系に、約49%の生徒が文化系に参加し、高校全体では約48%の生徒が運動系に、約39%の生徒が文化系に参加しています。高3は実質的にはほとんど活動しません。

Q 07 部の合宿はどれくらいの回数がありますか？

A 委員会や部によって異なりますが、運動系は長期休暇中に数日間、また、学期途中で大会前に1泊程度の合宿を行うことがあります。

Q 08 課外授業とはどのような授業ですか？

A 放課後、生徒の教養を深め、技能を高めるために開設される講座で、専門の先生方に習うことができます。また、遠距離通学の生徒にとっては、帰宅後に改めて習い事に出かけなくても学校でできる、という利点も大きいようです。週1回のもので、委員会・部活動との両立も可能です。

Q 09 携帯電話・スマートフォンを持って行くことはできますか？

A 校内への持ち込みは可能です。中学生は校内では使用を禁止していますが、高校生は学校生活に関連する利用目的のもとで、一部の学習活動や放課後の活動で自由に使うことができます。

Q 10 自転車通学はできますか？

A 原則的に本校から直線距離で1～2kmの範囲を基準として、許可制となっています。

入学試験について



Q 11 帰国子女ですが、枠はありますか？

A 帰国子女枠はありません。海外在住経験による入試での加点もありません。

Q 12 第1回、第2回の試験の傾向は違いますか？

A 2回とも問題の傾向は同じです。配点、時間も共通となっています。

Q 13 1科目でも極端に悪いと不合格になりますか？

A いわゆる足切りはしていません。可否は総合点で判定します。

Q 14 集合時間（午前8時15分）に遅刻した場合はどうなりますか？

A 集合時刻から20分後までの遅刻は認めています。交通機関などをよく調べ、早めの集合を心がけてください。

Q 15 繰上合格候補者（＝補欠）の繰上方法と受験者への連絡方法はどうなっていますか？

A 繰上合格候補者の発表はありません。ただし、手続き状況により追加合格が出た場合、第1回入試、第2回入試を両方受験いただいた方の中から、対象者に電話でご連絡します。2018年度は11名、2019年度は18名、2020年度は0名、2021年度は23名、2022年度は16名、2023年度は9名でした。

Q 16 転勤のため、途中で退転学し、後に再転勤により転編入（再入学）することはできますか？

A 中学で退転学し、中学で転編入を希望する場合は、書類審査と面接で判定します。高校で転編入を希望する場合は、書類審査と学科試験、面接で判定します。ただし、転編入は高校1年2学期末までを限度とし、それ以降の転編入は認めていません。

入学案内

2024年度入試概要

試験日・募集人員・願書受付・試験科目など

	第1回	第2回
試験日	2月1日(日)	2月2日(日)
募集人員	134名	100名
試験科目 配点と時間	国語…………… 100点 50分 算数…………… 100点 50分 社会…………… 70点 35分 理科…………… 70点 35分	
合格発表	2月1日(日)	2月2日(日)

※本校の入試への出願はすべてインターネット出願となります。

※インターネット出願の詳細については、後日お知らせ致します。

2023年度中学校入試結果

募集人員・応募者・受験者・合格者・倍率 ※〔 〕内は2022年度

	第1回	第2回
試験日	2月1日(日)	2月2日(日)
募集人員	134名 (134名)	100名 (100名)
応募者	626名 (606名)	1006名 (977名)
受験者	581名 (565名)	738名 (696名)
合格者	190名 (202名)	220名 (227名)
倍率	3.1倍 (2.8倍)	3.4倍 (3.1倍)

合格者の平均点と最高点・最低点

		第1回	第2回
国語	満点	100点(50分)	
	平均点	69.3	78.9
	最高点	88	92
	最低点	51	63
算数	満点	100点(50分)	
	平均点	75.2	81.6
	最高点	100	100
	最低点	53	56
社会	満点	70点(35分)	
	平均点	50.0	52.8
	最高点	62	66
	最低点	33	31
理科	満点	70点(35分)	
	平均点	55.9	53.0
	最高点	68	68
	最低点	41	39
合計	満点	340点	
	平均点	250.4	266.3
	最高点	293	307
	最低点	233	250

学校説明会等公開行事

2023年度 学校説明会・学校見学会・入試会場見学会

第1回 学校説明会	ライブ配信	4/26 水	11:00～12:20	全学年対象	定員 950名
第2回 学校説明会	ライブ配信	5/17 水	11:00～12:20		定員 950名
	(1)校内実施	5/20 土	9:30～11:10		定員 300名
(2)校内実施	11:50～13:30		定員 300名		
第3回 学校説明会	ライブ配信	6/28 水	11:00～12:20		定員 950名
学校見学会	校内実施	7/9 日	13:40～16:20 上記時間帯の中の 25分間程度		詳細は時期が 近づきましたら 本校HPに 掲載いたします
第4回 学校説明会	ライブ配信	9/13 水	11:00～12:20		定員 950名
	(1)校内実施	9/16 土	9:30～11:10		定員 300名
(2)校内実施	11:50～13:30		定員 300名		
第5回 学校説明会	ライブ配信	10/11 水	11:00～12:20		定員 950名
	(1)校内実施	10/14 土	9:30～11:10	定員 300名	
(2)校内実施	11:50～13:30		定員 300名		
第6回 学校説明会	ライブ配信	11/15 水	11:00～12:20	定員 950名	
	(1)校内実施	11/18 土	9:30～11:10	定員 300名	
(2)校内実施	11:50～13:30		定員 300名		
第7回 学校説明会 (入試会場見学会)	(1)校内実施	12/16 土	9:50～10:30	6年生対象	定員 400名
	(2)校内実施		11:00～11:40		定員 400名
	(3)校内実施		12:10～12:50		定員 400名

■ オープンキャンパス

6月17日土

◎詳細は時期が近づいた段階で本校ホームページで発表します。



■ 吉祥祭

9月30日土・10月1日日

◎詳細は時期が近づいた段階で本校ホームページで発表します。



※すべての学校説明会等の公開行事は、オンライン上で事前の予約が必要となります。

原則的には実施日の3週間前の昼12:00より予約受付を開始いたします。

※状況により、校内実施を予定しているものも、ライブ配信での実施または中止となる場合があります。

※オープンキャンパス・吉祥祭のプログラムの詳細や予約方法等は、時期が近づきましたら本校ホームページで発表します。

※学校見学会は「校内の指定ルート」を通じて校舎内をご覧いただく自由見学方式の見学会で、本校の教育内容の説明等はありません。

時程の詳細は時期が近くなりましたら本校ホームページで発表いたします。入試会場見学会は、入試会場として使用する普通教室にお入りいただき、入試当日に関する注意等を説明する動画をご覧いただくものになります。

※上記の日程や内容は変更することがあります。最新の情報や実施時間帯、予約方法は、本校のホームページでご確認ください。

資料配布について

学校紹介の各種資料(GUIDEBOOK・過去2年分の入試問題・生徒募集要項・入学試験要項等)は、本校ホームページからダウンロードが可能です。

また、学校説明会等にご参加いただいた皆様には学校紹介の各種動画もご覧いただけるようにしております。

お願い

※駐車スペースはありませんので、自動車でのご来場は固くお断りさせていただきます。※校内での写真・ビデオ撮影はご遠慮ください。



学校法人守屋教育学園

吉祥女子中学・高等学校

吉祥寺キャンパス

〒180-0002 東京都武蔵野市吉祥寺東町4-12-20 TEL 0422-22-8117 FAX 0422-22-9752

・JR中央線・総武線・地下鉄東西線直通「西荻窪駅」下車 徒歩8分 ※中央線快速は土曜・休日は、西荻窪駅には停車しません。

・西武新宿線「上石神井駅」から、西荻窪駅行バスにて15分「地蔵坂上バス停」下車 徒歩8分

<https://www.kichijo-joshi.jp/>